

石川町公共施設個別施設計画

令和3年9月
福島県 石川町

目次

序章 個別施設計画について.....	1
1 計画策定の背景	1
2 計画の目的	1
3 計画期間.....	1
4 対象とする公共施設	2
5 関連計画との整合性	2
第1章 公共施設を取り巻く現状と課題	3
1 公共施設の保有状況	3
2 更新費用の状況	5
3 施設の配置状況	7
4 人口の変化.....	14
5 施設の目指すべき姿	16
第2章 公共施設の傾向把握と整備手法の選択について	18
1 概要	18
2 一次評価（建物の傾向）	19
3 二次評価（施設の傾向）	25
4 適用可能な手法の選択	27
5 劣化状況調査	28
第3章 公共施設の状況と整備手法	30
1 集会施設.....	30
2 文化施設.....	34
3 図書館.....	36
4 博物館等.....	38
5 スポーツ施設	40
6 レクリエーション施設・観光施設	42
7 産業系施設.....	44
8 学校	46
9 幼保・こども園	49
10 高齢福祉施設	51

1 1	保健施設	53
1 2	庁舎等	55
1 3	消防施設	57
1 4	その他行政系施設	63
1 5	公営住宅	65
1 6	公園	69
1 7	供給処理施設	71
第4章 公共施設整備の基本的な方針と整備水準		73
1	改修等の基本的な方針	73
2	改修周期の考え方	73
3	改修等の整備水準	74
4	整備手法を踏まえた更新費用の状況	75
第5章 実施計画		77
1	優先順位の考え方	77
2	実施計画	77
3	実施計画におけるコストの見通し	81
4	今後の対策	82
第6章 個別施設計画の継続的運用		83
1	維持管理の項目・手法等	83
2	情報基盤の整備と活用	85
3	推進体制等の整備	86
4	フォローアップ	86

【公共施設個別施設計画の記載にあたっての前提】

① 端数処理について

本計画で取り扱う数値は、金額は単位未満を切り捨て、延床面積等は単位未満を四捨五入の端数処理することを基本としています。このため、各数値の合計が表記される合計欄の数値と一致しない場合があります。

② 調査時点と年度表記について

本計画に掲載する数値は、平成 31 年度（令和 2 年 3 月 31 日に終了する事業年度）を基本としています。それ以外の時点の情報を利用する場合は、その旨を注記しています。

③ %（パーセント）表記について

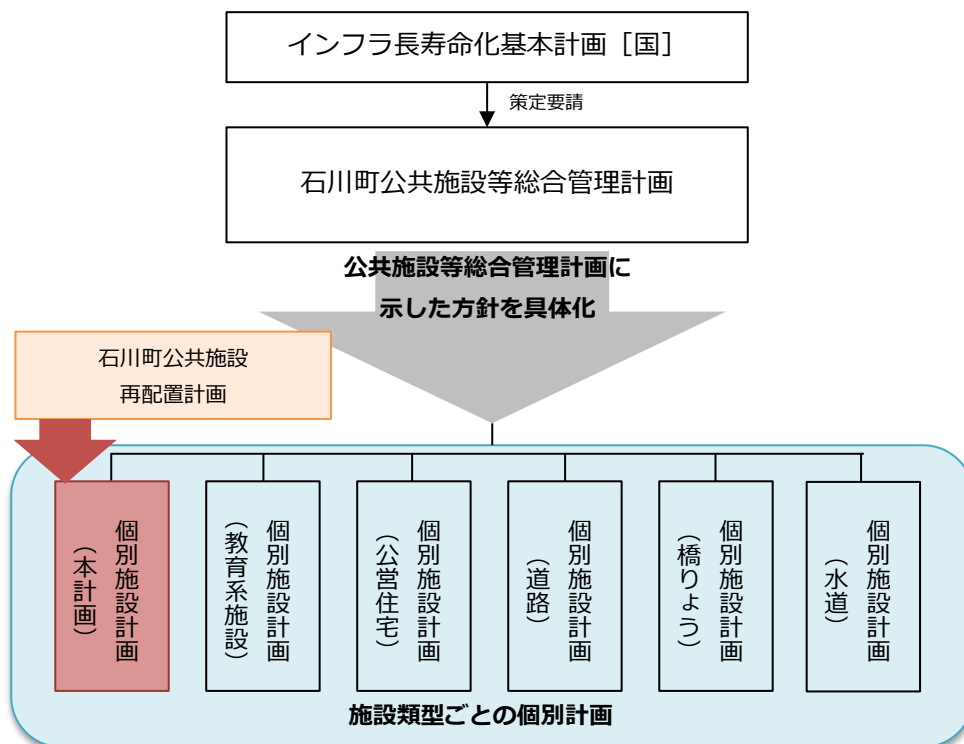
「%（パーセント）」表記は小数第 2 位を四捨五入しているため、合計値が「100%」にならない場合があります。

序章 個別施設計画について

1 計画策定の背景

全国的に公共施設等の老朽化対策が大きな課題となっております。国においては、インフラの戦略的な維持管理・更新等を推進するため平成 25 年に「インフラ長寿命化基本計画」を策定し、さらに、平成 26 年に公共施設やインフラの総合的かつ計画的な管理を行うため「公共施設等総合管理計画」の策定を要請しました。これを受け、本町では平成 29 年 3 月に「石川町公共施設等総合管理計画（以下、「管理計画」という。）」を策定しました。

個別施設計画では管理計画に基づき、個別施設ごとの具体的な対応方針を定めることが求められています。



2 計画の目的

上記の背景を踏まえ、管理計画で定めたハコモノ施設の全体方針を基本とし、建物の安全確保のための管理や長寿命化、財政負担の軽減・平準化を達成するため、個別施設ごとの対応方針を示すものとしてします。

3 計画期間

計画期間は令和 4(2022)～令和 13(2031)年度までの 10 年間とします。ただし、更新費用の試算は令和 4(2022)～令和 43(2061)年度までの 40 年間実施します。

また、本計画の内容に沿って管理計画の見直しを行います。

4 対象とする公共施設

本計画で対象とする施設は、管理計画に示す「建築系公共施設（インフラを除く）」とします。ただし、「公営住宅法に規定されている住宅」は本計画の対象とせず、「延床面積 100 ㎡未満の建築物」は個別対応や事後保全とします。

※消防屯所については 100 ㎡未満であっても計画対象とします。

5 関連計画との整合性

個別施設計画に関連する本町の計画は、主に以下の計画があります。

主な関連計画等

関連計画等	関連する記載内容
石川町第 6 次総合計画	まちづくりの指針となる最上位計画。
石川町 公共施設等総合管理計画	公共施設等の総合的・計画的な管理を推進するための指針。公共建築物やインフラ施設にかかる個別施設計画の上位計画。
石川町 まち・ひと・しごと創生人口 ビジョン・創生総合戦略	石川町の人口の現状を分析するとともに、石川町が目指すべき将来展望を示したもの。交流人口の増加や人口流出の抑制、流入人口の増加など人口減少に歯止めをかけるための行動計画。
石川町立小・中学校統合計画	より良い教育環境を整備する為の統合計画。
石川町 過疎地域持続的発展計画	人口の減少に正面から向き合い、本町における持続可能な地域社会の形成及び地域資源等を活用した地域活力向上の為の計画。

第1章 公共施設を取り巻く現状と課題

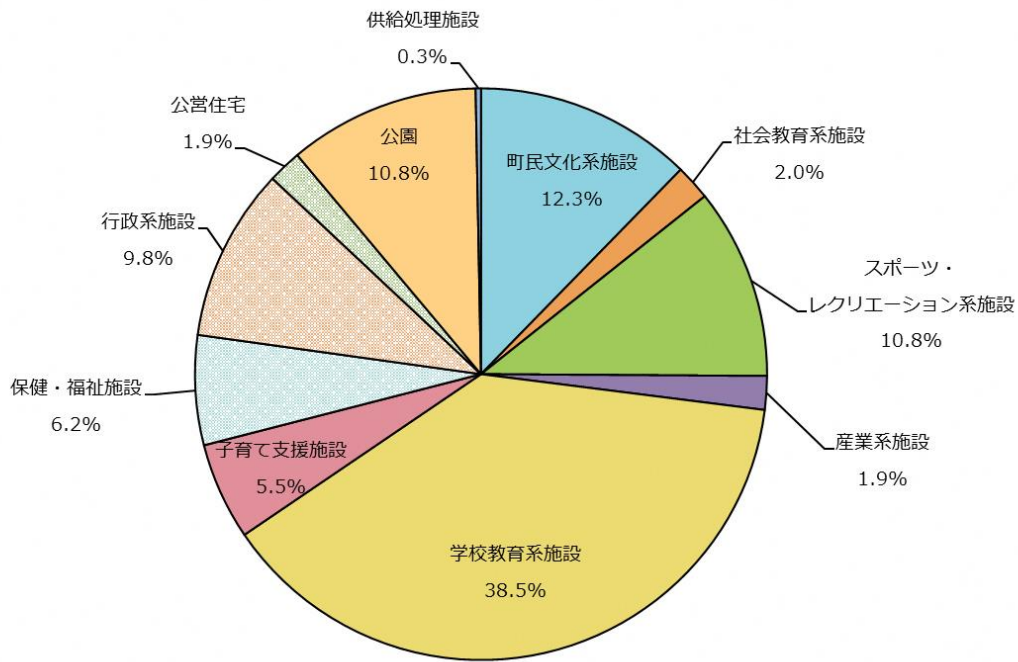
1 公共施設の保有状況

平成31年度(2019年度)末時点で本町が保有する主な公共施設は84施設で、延床面積の合計は約58,538㎡です。

表 1-1 公共施設の一覧（平成31年度末）

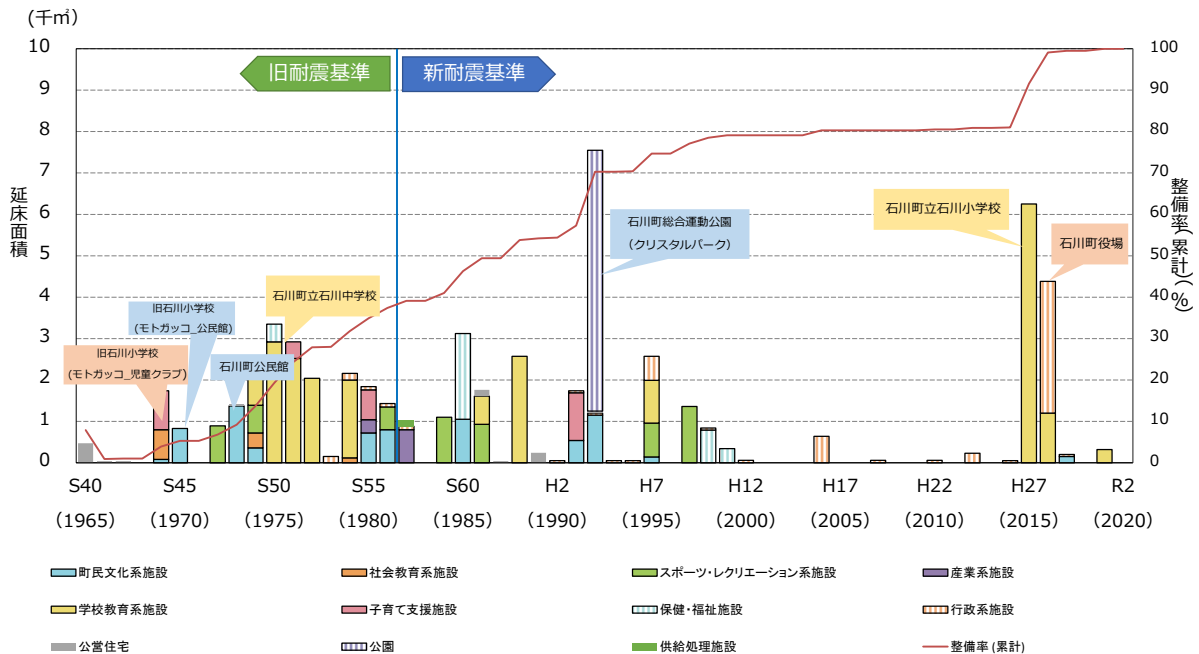
大分類	中分類	小分類	施設数	延床面積(㎡)
町民文化系施設	集会施設	公民館	2	1,928
		自治センター	6	4,265
		コミュニティセンター	1	144
	文化施設	文化会館	2	861
社会教育系施設	図書館	図書館	1	719
	博物館等	博物館等	1	476
スポーツ・レクリエーション系施設	スポーツ施設	スポーツ施設	3	2,642
		プール	1	1,360
	レクリエーション施設・観光施設	レクリエーション施設	2	2,328
産業系施設	産業系施設	勤労会館	2	1,120
学校教育系施設	学校	小学校	3	13,609
		中学校	1	8,943
子育て支援施設	幼保・こども園	保育所等	5	3,220
保健・福祉施設	高齢福祉施設	高齢者施設	2	2,837
	保健施設	保健センター	1	793
行政系施設	庁舎等	庁舎	1	3,185
		消防施設	消防屯所	29
	その他行政系施設	備蓄倉庫	1	60
		その他行政系施設	2	1,108
公営住宅	公営住宅	集合住宅	1	244
		戸建住宅	15	843
公園	公園	公園	1	6,299
供給処理施設	供給処理施設	供給処理施設	1	155
計			84	58,538

図 1-1 大分類別の延床面積割合（平成 31 年度末）



公共施設の延床面積は、約 38.5%を学校教育系施設が占めており、ついで町民文化系施設の 12.3%、スポーツ・レクリエーション系施設および公園の 10.8%が続きます。

図 1-2 年度別整備延床面積



本町の施設はその多くが 1970 年代から 1990 年代に整備されています。旧耐震基準で建築されている 1980 年以前の建物は全施設延床面積の約 40%にのぼり、今後、耐震補強の実施や老朽化への対応等、維持管理に要する費用の増加が予想されます。

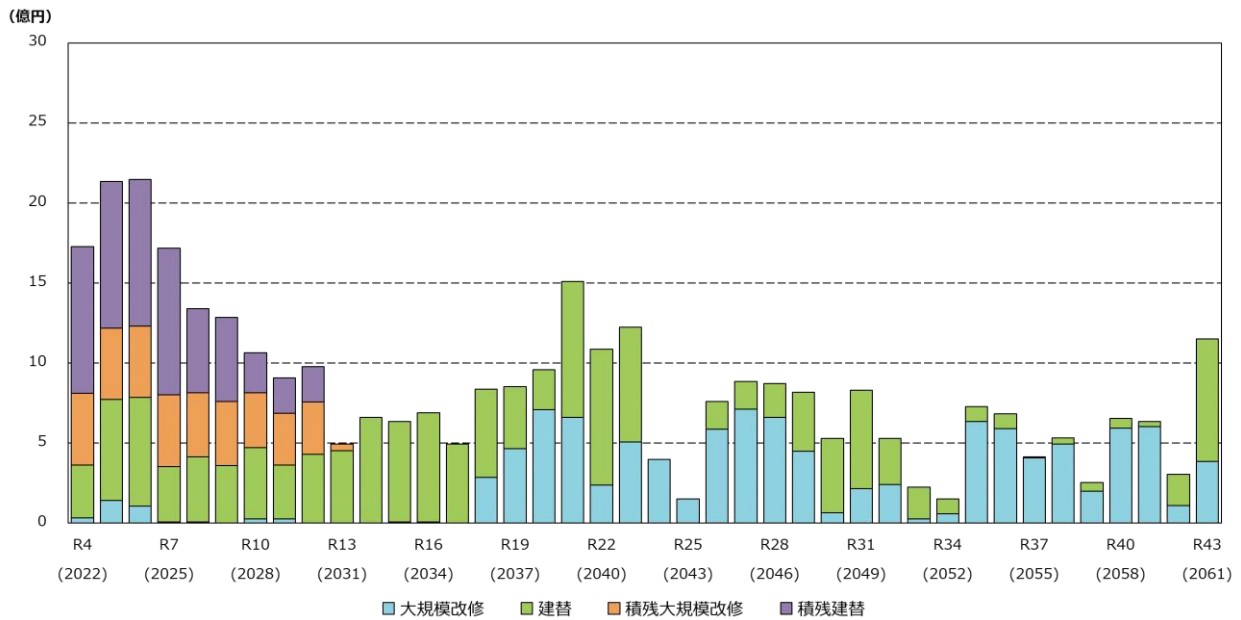
2 更新費用の状況

本計画における建物を法定耐用年数経過後に同じ規模で更新（大規模改修や建替）したと仮定した場合、今後40年間の総額は342.6億円となり、平均費用は年間約8.5億円となります。本町は直近5カ年で統合小学校、石川町役場、文教福祉複合施設（モトガッコ）等大規模施設の建設を行っており、この期間における投資的経費の平均額は14.9億円です。一方、大規模施設建設が無い年の投資的経費はおよそ6.5億円であるため、今後40年、毎年約8.5億円の支出が見込まれる現状は、財政にとって大きな負担と言えます。

将来の人口動向や財政状況を踏まえた公共施設の総量を検討することや計画的な修繕による長寿命化の推進が急務です。

図 1-3 公共施設にかかる将来の更新費用の推計

更新対象ストック 5.9万㎡
 年更新費用試算額 8.5億円 試算期間の更新費用総額 342.6億円



※あくまで推計値であり、実際にかかる経費とは異なります。

試算にあたっての条件は以下の通りです。

- ① 更新単価は、一般財団法人地域総合整備財団(ふるさと財団)¹が提供している、「公共施設等更新費用試算ソフト」で採用されている単価としています。
- ② 建築から法定耐用年数の 1/2 の期間経過後に大規模改修、法定耐用年数経過後に建替えることとしています。
- ③ 大規模改修の修繕期間は 2 年、建替え期間は 3 年としています。
- ④ 2020 年度時点で、既に更新の時期を迎えているものについては、試算開始年度に費用が集中することとなるため、負担を分散軽減できるように、試算開始年度となる 2022 年度から法定耐用年数の 20%相当の期間に均等に割り当てています。

【公共施設の分類別更新単価表】

分類区分	建替え単価	大規模改修単価
町民文化系施設	400,000 円/㎡	250,000 円/㎡
社会教育系施設	400,000 円/㎡	250,000 円/㎡
スポーツ・レクリエーション系施設	360,000 円/㎡	200,000 円/㎡
産業系施設	400,000 円/㎡	250,000 円/㎡
学校教育系施設	330,000 円/㎡	170,000 円/㎡
子育て支援施設	330,000 円/㎡	170,000 円/㎡
保健・福祉施設	360,000 円/㎡	200,000 円/㎡
医療施設	400,000 円/㎡	250,000 円/㎡
行政系施設	400,000 円/㎡	250,000 円/㎡
公営住宅	280,000 円/㎡	170,000 円/㎡
公園	330,000 円/㎡	170,000 円/㎡
供給処理施設	360,000 円/㎡	200,000 円/㎡
その他	360,000 円/㎡	200,000 円/㎡

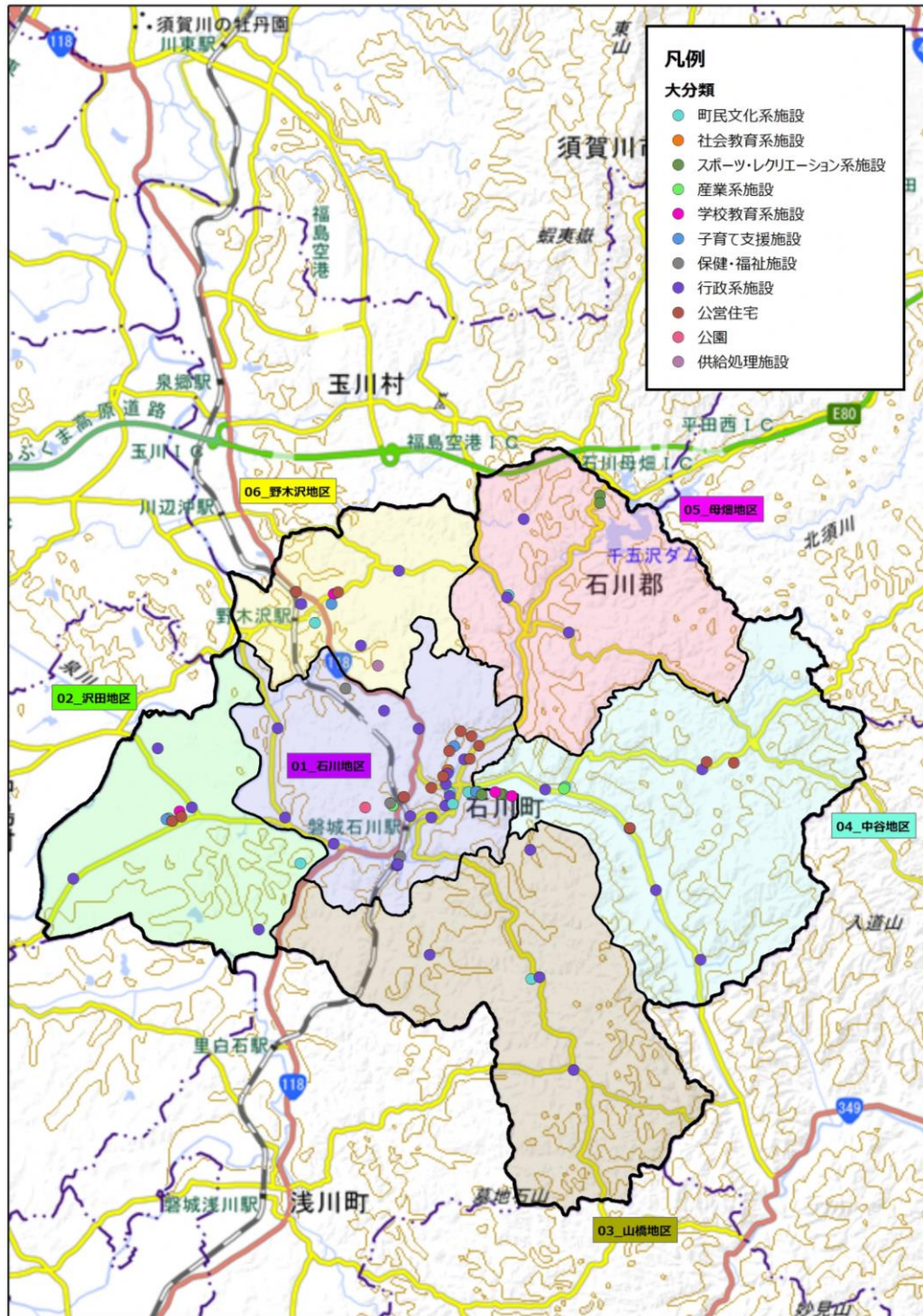
※建替えに伴う解体費、仮移転費用、設計料等については含むものと想定します。

¹ 一般財団法人地域総合整備財団[ふるさと財団]は、地方公共団体の公共施設マネジメントの導入について、様々な方法で支援している法人です。

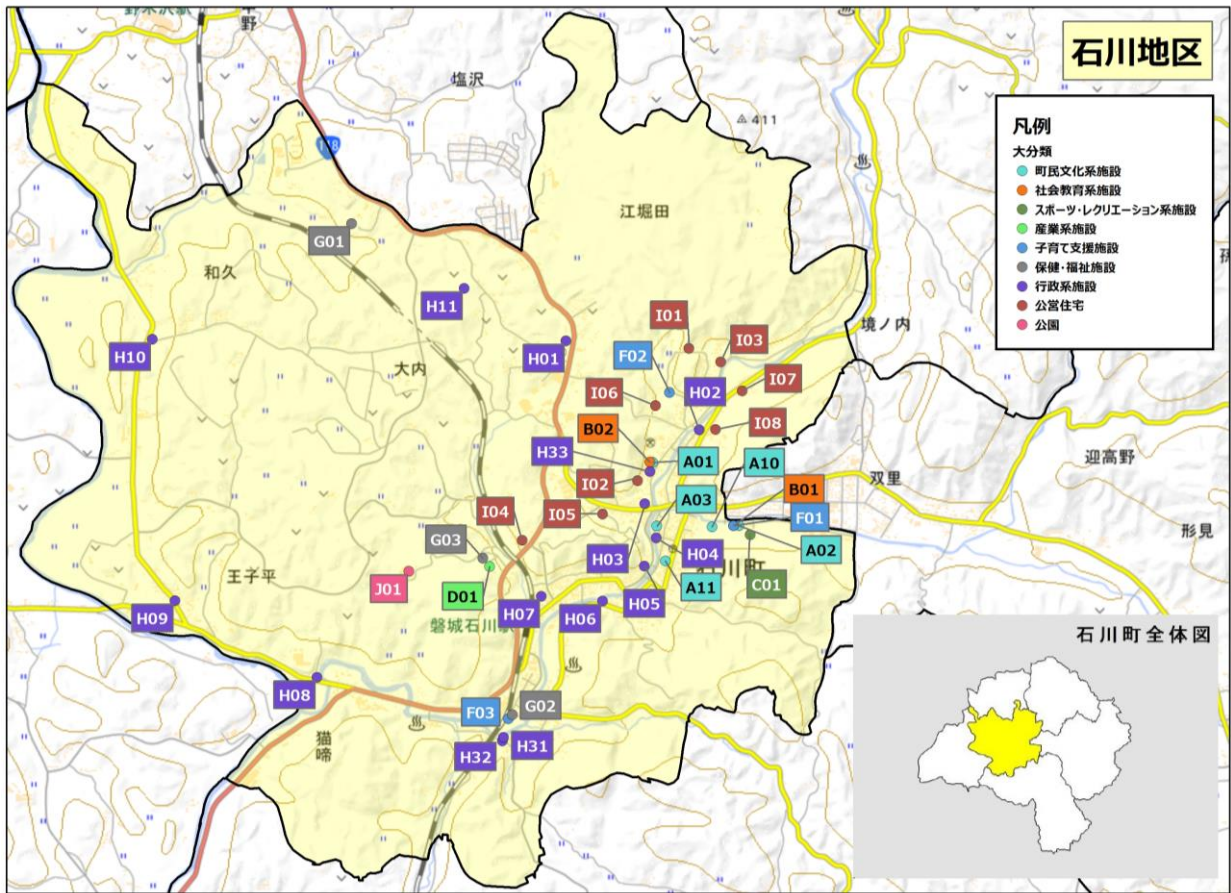
3 施設の配置状況

1955年3月に旧石川町・沢田村・山橋村・中谷村・母畑村・野木沢村の6町村が合併し誕生した本町は、福島県中通り南部、阿武隈高地西側に位置し、阿武隈川流域の平坦地と阿武隈高地に連なる山間地から形成され、市街地は北須川・今出川に沿って開けています。令和元年東日本台風により直接、間接的に被災した施設もあり、今後の施設統廃合においては立地を含めた検討が必要となります。

図 1-4-1 石川町全域の施設配置状況

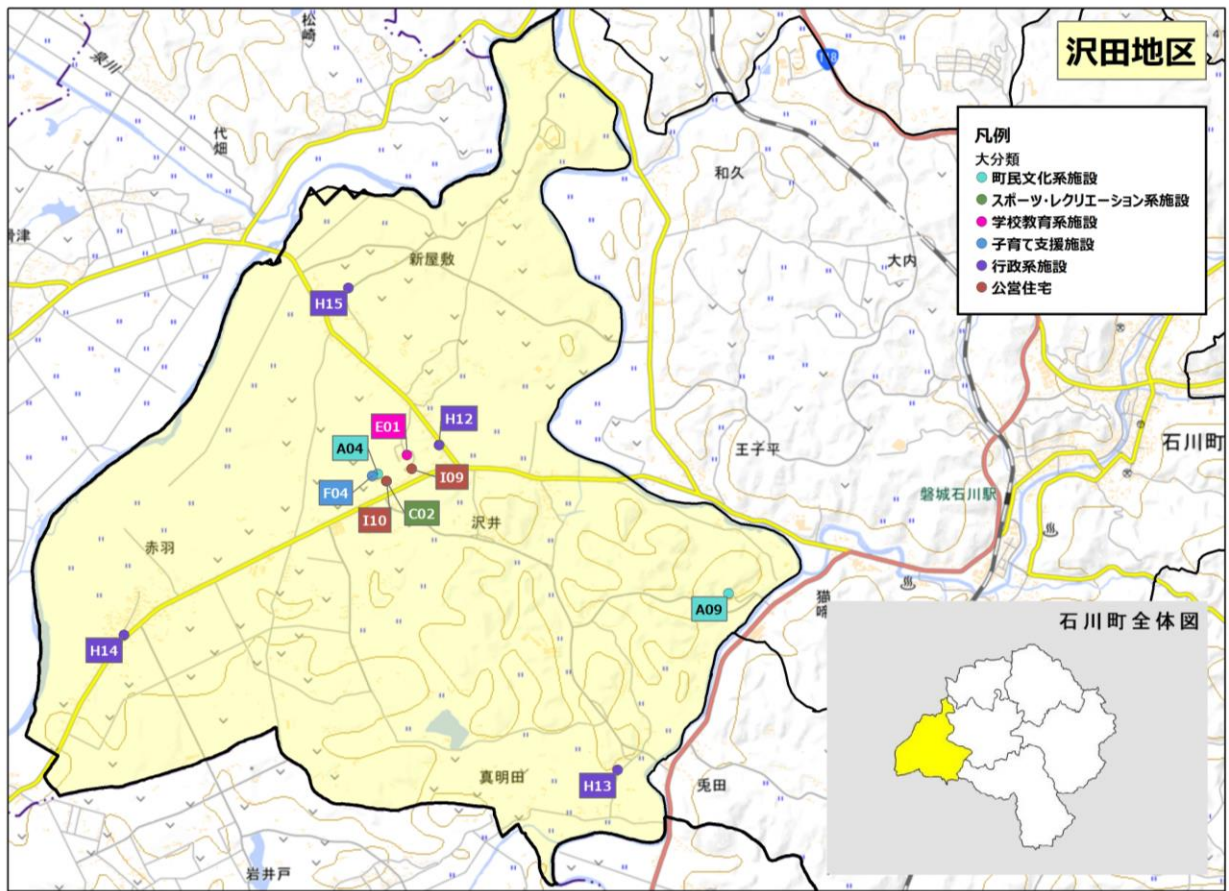


1-4-2 石川地区の施設配置状況



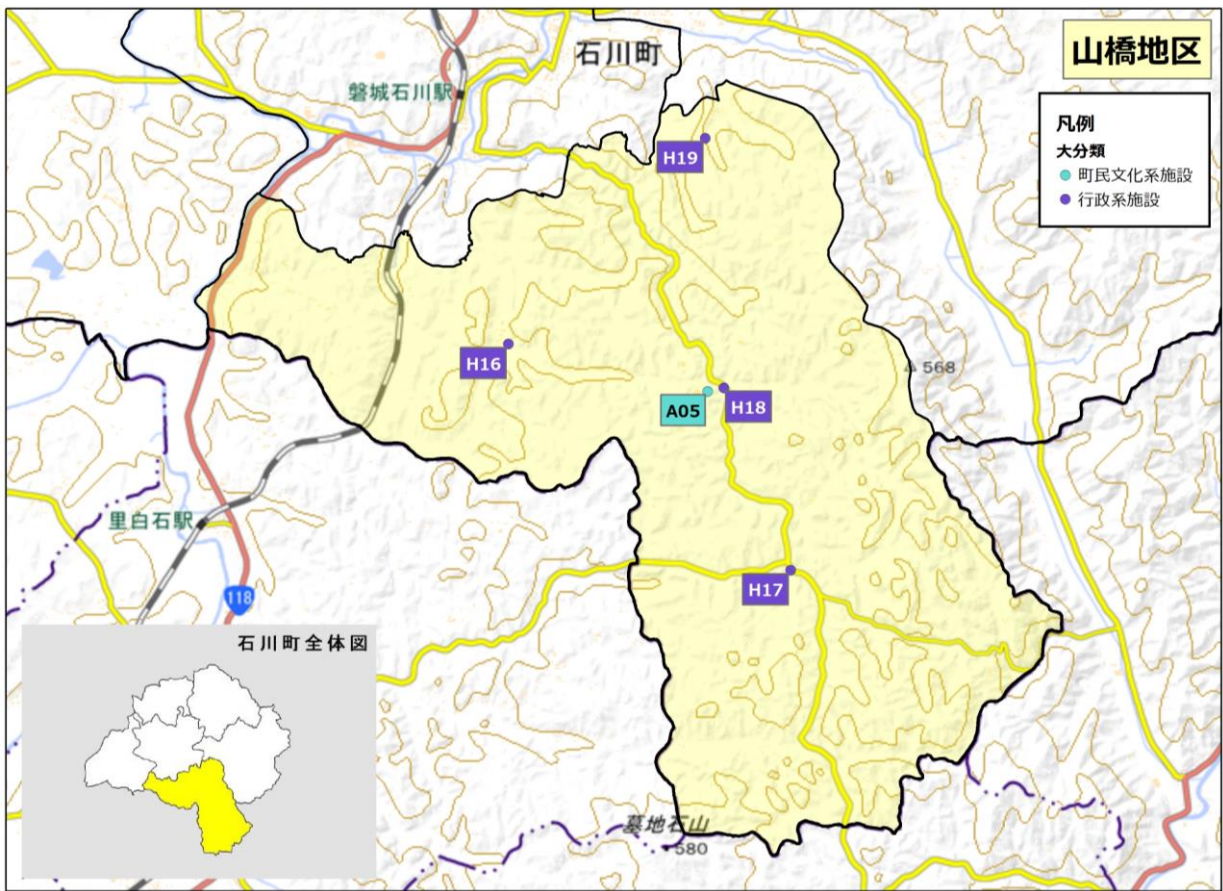
No	施設名称	No	施設名称	No	施設名称
A01	石川町公民館	G02	石川町老人福祉センター	H31	防除機械格納庫
A02	文教福祉複合施設（モトガッコ）_公民館	G03	石川町保健センター	H32	保健センター分室
A03	石川自治センター	H01	石川町役場	H33	石川合同庁舎
A10	石川町共同福祉施設	H02	石川分団第1部屯所	I01	一般住宅3
A11	鈴木重謙屋敷	H03	石川分団第2部屯所	I02	一般住宅1
B01	文教福祉複合施設（モトガッコ）_石川町立図書館	H04	石川分団第3部屯所	I03	一般住宅2
B02	石川町立歴史民俗資料館	H05	石川分団第4部屯所	I04	一般住宅7
C01	石川町体育館	H06	石川分団第5部屯所	I05	職員住宅3
D01	石川町勤労青少年ホーム	H07	石川分団第6部屯所	I06	職員住宅4
F01	文教福祉複合施設（モトガッコ）_児童クラブ	H08	石川分団第7部屯所	I07	職員住宅7
F02	第一保育所	H09	石川分団第8部屯所	I08	職員住宅8
F03	第二保育所	H10	石川分団第9部屯所	J01	石川町総合運動公園（クリスタルパーク）
G01	石川町立養護老人ホーム長生園	H11	石川分団第10部屯所		

図 1-4-3 沢田地区の施設配置状況



No	施設名称	No	施設名称	No	施設名称
A04	沢田自治センター	F04	沢田児童館	H15	沢田分団第4部屯所
A09	石川町川井地区集会場	H12	沢田分団第1部屯所	I09	職員住宅5
C02	石川町屋内ゲートボール場	H13	沢田分団第2部屯所	I10	職員住宅11
E01	石川町立沢田小学校	H14	沢田分団第3部屯所		

図 1-4-4 山橋地区の施設配置状況



No	施設名称	No	施設名称	No	施設名称
A05	山橋自治センター	H17	山橋分団第2部屯所	H19	山橋分団第4部屯所
H16	山橋分団第1部屯所	H18	山橋分団第3部屯所		

序章

第1章

第2章

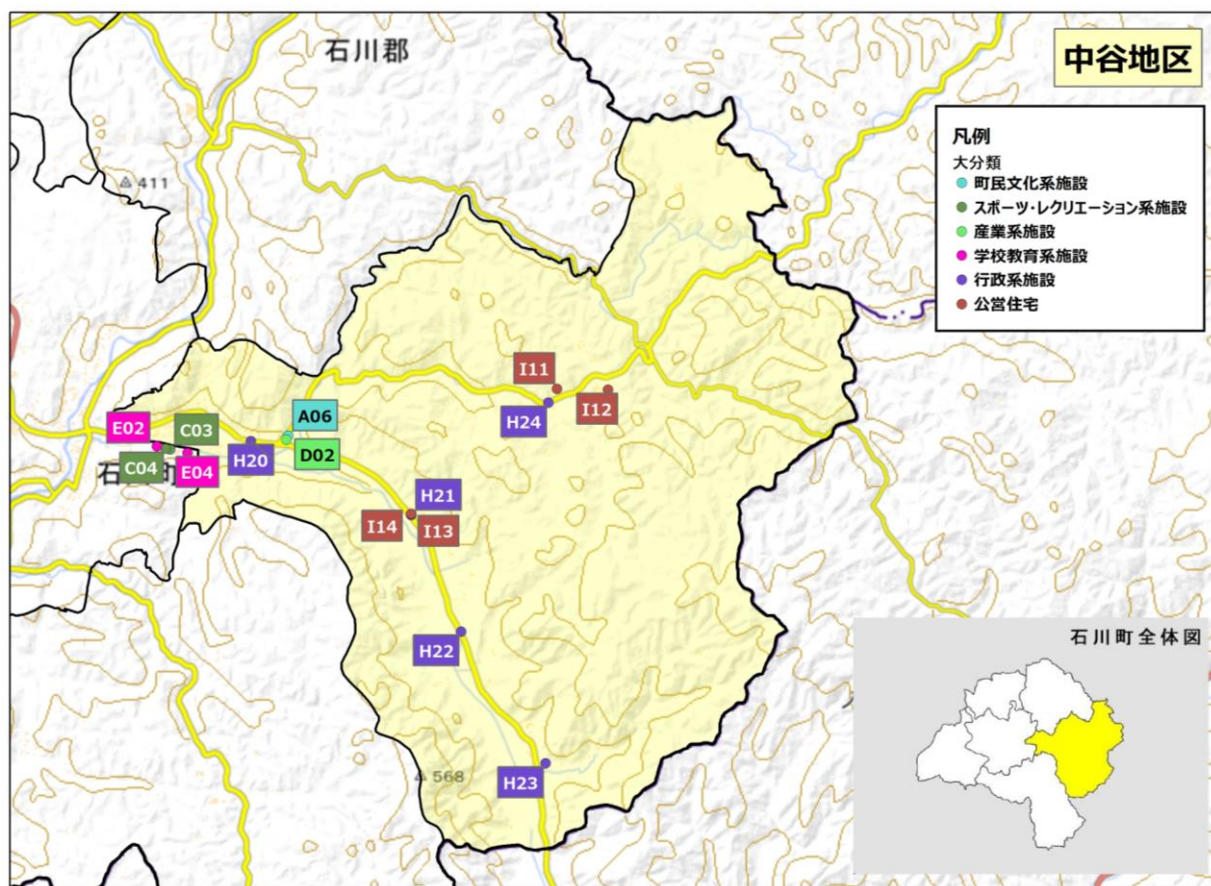
第3章

第4章

第5章

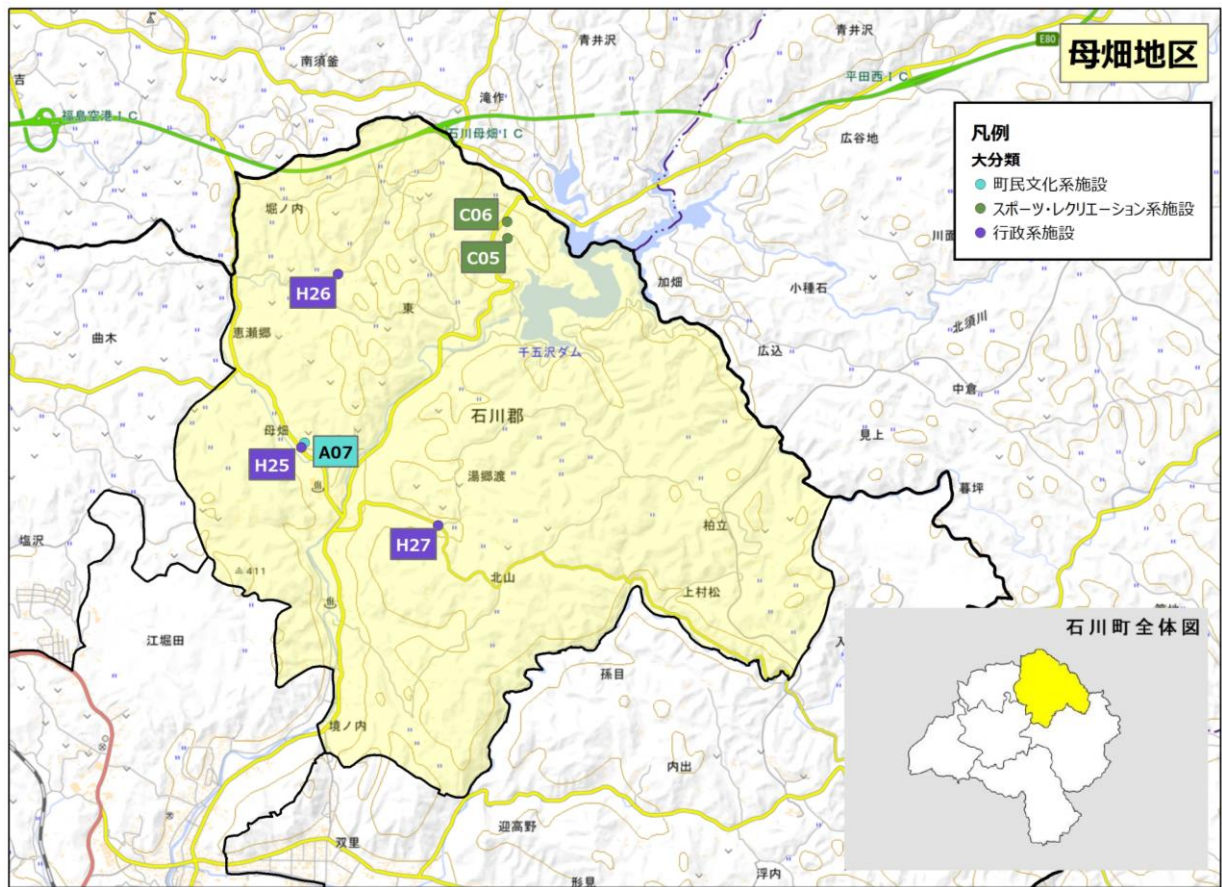
第6章

図 1-4-5 中谷地区の施設配置状況



No	施設名称	No	施設名称	No	施設名称
A06	中谷自治センター	E04	石川町立石川中学校	H24	中谷分団第5部屯所
C03	石川町武道館	H20	中谷分団第1部屯所	I11	職員住宅1
C04	石川町温水プール	H21	中谷分団第2部屯所	I12	職員住宅2
D02	中谷自治センター（農村婦人の家）	H22	中谷分団第3部屯所	I13	職員住宅9
E02	石川町立石川小学校	H23	中谷分団第4部屯所	I14	職員住宅12

図 1-4-6 母畑地区の施設配置状況



No	施設名称	No	施設名称	No	施設名称
A07	母畑自治センター	C06	母畑レークサイドセンター (レストハウス)	H26	母畑分団第2部屯所
C05	母畑レークサイドセンター (その他施設)	H25	母畑分団第1部屯所	H27	母畑分団第3部屯所

序章

第1章

第2章

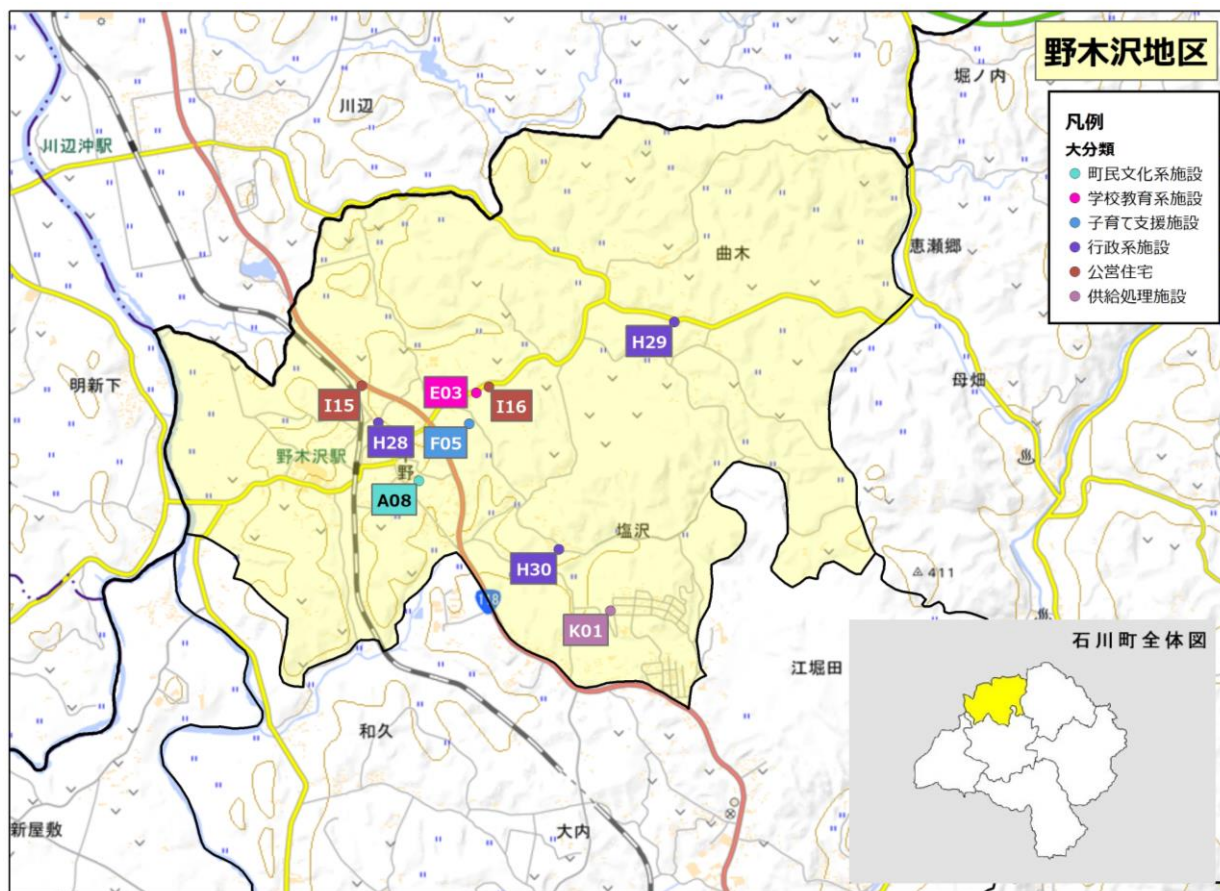
第3章

第4章

第5章

第6章

図 1-4-7 野木沢地区の施設配置状況



No	施設名称	No	施設名称	No	施設名称
A08	野木沢自治センター	H28	野木沢分団第1部屯所	I15	一般住宅5
E03	石川町立野木沢小学校	H29	野木沢分団第2部屯所	I16	職員住宅10
F05	野木沢保育所	H30	野木沢分団第3部屯所	K01	石川町小金塚団地 共同污水处理施設【土地開発事業特別会計】

序章

第1章

第2章

第3章

第4章

第5章

第6章

4 人口の変化

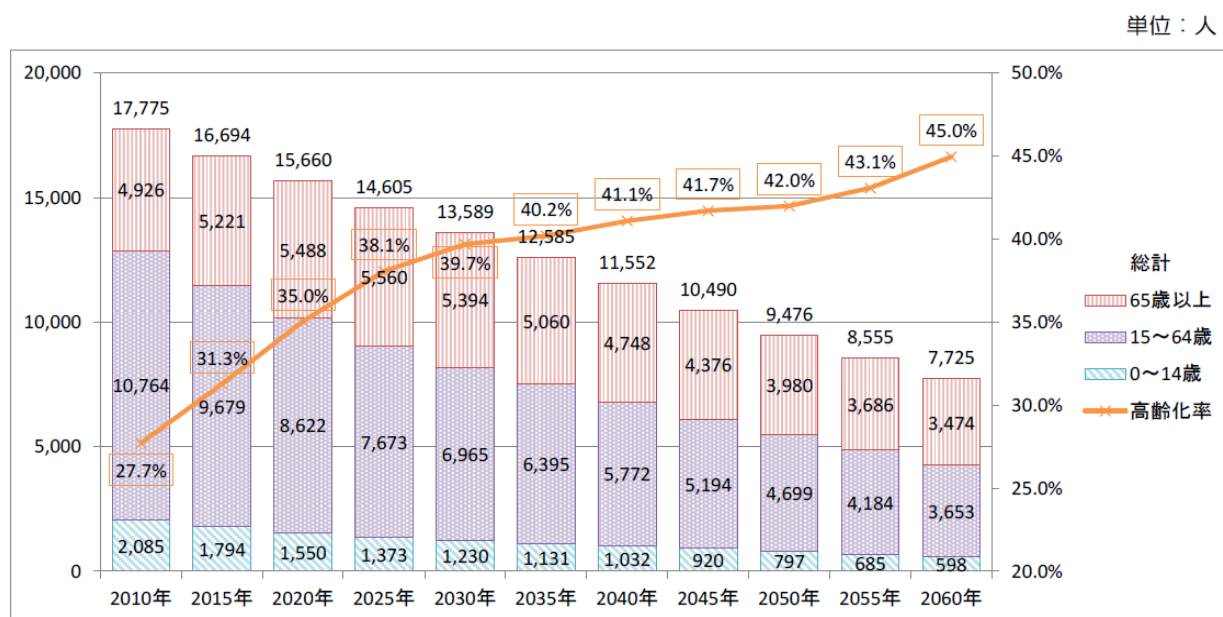
(1) 本町の人口及び年代別人口の見直し

国立社会保障・人口問題研究所に準拠した推計によると、本町の人口は令和12(2030)年には13,589人、令和22(2040)年には11,552人まで減少すると推計されています。

年齢区別の人口構成割合を見ると、15歳未満人口(年少人口)は、平成22(2010)年に11.7%を占めていましたが、令和2(2020)年には9.8%に減少します。また、65歳以上人口(老年人口)は、平成22(2010)年に人口の27.7%を占めていましたが、令和2(2020)年には35.0%に増加します。本町の将来人口では、令和22(2040)年には人口構成割合では15歳未満人口(年少人口)は8.9%、65歳以上人口(老年人口)は41.1%になると推計されています。少子高齢化の進行についても、深刻な状況にあるといえます。

このように、公共施設等を建設した当時と比較して今後の環境が大きく変化していくことが見込まれ、人口減少に伴う公共施設等の整理統合及び少子高齢化に伴う町民ニーズに即した公共施設等の見直しが急務となっています。

図1-5 本町の人口推移と将来推計



※出典：石川町まち・ひと・しごと創生人口ビジョン

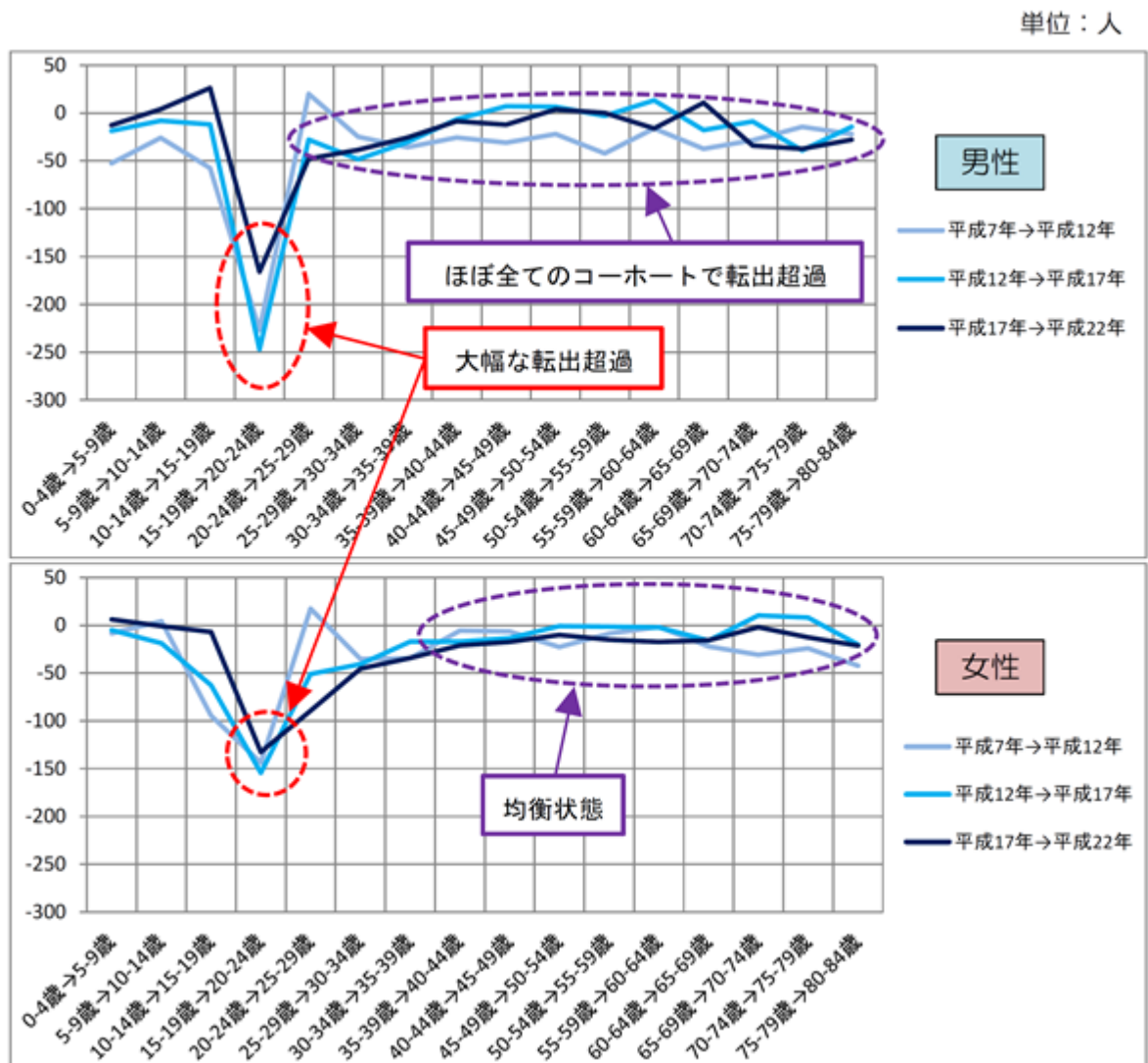
(2) 男女別・年齢階級別人口移動の長期的動向

「石川町人口ビジョン」において平成7(1995)年から平成22(2010)年までの純移動数を推計し、年齢別男女別の長期的動向を比較してみた結果、男性・女性ともに「15-19歳→20-24歳」で大幅な転出超過となっている状況がわかりました。これは就学及び就職によるものであると考えられます。男性では「20-24歳→25-29歳」以降のほぼ全ての年齢帯(コーホート)で転出超過となっています。女性では20代後半から30代後半にかけて転出超過となっていますが、それ以降はほぼ均衡しており、人口の大きな移動がほとんどみられないことがわかります。

企業誘致の推進や立地企業の育成により若者の就業支援を図ることや、子育て世代への定住促進策を充実させることで、人口減少に歯止めをかけることができると考えられます。

近隣自治体との連携を深めることで本町の役割を明確化し、その役割に即した公共施設マネジメントを推進する必要があります。

図1-6 年齢階級別人口移動の推移



※出典：石川町まち・ひと・しごと創生人口ビジョン

5 施設の目指すべき姿

(1) 全体方針としての目指すべき姿

1. 施設保有量の適正化

全庁的な視点を持って、今後の財政状況や人口構造などに見合った適切な施設保有量の検討を行います。類似・重複した施設の集約化や複合化を進め、利用状況が低くかつ老朽化した施設から縮減するなどして、施設保有量の最適化を図ります。また、必要とされる施設については、計画的に更新します。

2. 管理運営の効率化

民間企業などが持つノウハウを積極的に活用し、サービス水準を維持しながら計画的・効率的な維持管理に努め、ライフサイクルコストの縮減を図ります。

3. 安全性の確保と長寿命化

今後も継続して使用する公共施設については、これまで行ってきた「事後保全」型の維持管理だけでなく、長期的な視点で計画的に修繕を行う「予防保全」の考え方を取り入れ、定期点検や診断結果に基づく計画的な保全を実施し、公共施設等の長寿命化を推進します。

4. 快適で利用しやすい施設

人口構造や社会情勢の変化などによる町民ニーズの多様化、防災対応やユニバーサルデザイン化の推進、環境に配慮した取組など時代の要請に対応するため、施設機能の必要性や今後のあり方について分析・検討し、地域のニーズや利用状況等を考慮しながら公共施設の有効活用を図ります。

5. 省エネルギーで環境に優しい施設

施設運営に係る消費エネルギーを極力低減することができる、環境に優しい施設整備に努めます。

(2) 分類別の目指すべき姿

中分類	目指すべき姿
集会施設	各地区における住民活動の拠点として必要な集会機能を確保します。また、町民の多様な学習ニーズに対応するため、環境の整備、各自治センターとの連携などにより生涯学習の振興・充実を図ります。
文化施設	地域住民の身近な文化活動やイベント開催の拠点施設となるほか郷土教育や誰もが集い交流活動ができるにぎわいの場となる施設を目指します。
図書館	図書館機能の充実を図り町民が利用しやすい環境づくりに努めます。また、学校や自治センター、県立図書館等との連携を図るとともに、町民との協働による運営体制を構築していきます。
博物館等	貴重な文化財を保護し次世代に継承するとともに、収集した膨大な資料を町民が利活用できる環境を整えます。
スポーツ施設	町民が良好な環境で気軽にスポーツを堪能できるよう計画的な施設整備に努めます。
レクリエーション施設・観光施設	名所旧跡や食・文化を活用した町内を回遊させる仕組みづくりや体験を伴った商品の提供などによる通年での観光誘客を推進します。
産業系施設	勤労青少年の健全な育成、福祉の増進を図ります。
学校	基本的な生活習慣の体得と豊かな心の醸成を通して、石川町の次代を担う創造力ある人材の育成を図ります。また、望ましい学校規模を実現するため、学校の適正配置について検討していきます。
幼保・こども園	高い保育ニーズに応えるため、子どもが安心して過ごせる施設等の整備を図ります。
高齢福祉施設	高齢者が住み慣れた地域で自分らしい生活を続けることができるよう、住まい・生活支援・予防・医療・介護が包括的に提供される地域包括ケアシステムの整備を推進します。
保健施設	自ら健康づくりの実践ができるよう支援するとともに、疾病予防や感染症対策を推進し健康寿命の延伸に努めます。また、妊娠・出産・子育て期まで切れ目のない支援体制の充実を図るとともに、適切な地域医療体制の整備を進めます。
庁舎等	多様化する町民ニーズに対応するとともに、柔軟かつ正確な対応ができる窓口サービスを提供します。
消防施設	持続可能な消防体制づくりを進めるとともに、団員の消防技術の向上や消防施設設備の充実を図ります。また、須賀川地方広域消防組合と連携し、一体的な消防力の強化を図ります。
その他行政系施設	地域防災機能を維持するため、計画的な維持管理と長寿命化に努めます。
公営住宅	本町全域における住宅供給のバランスに配慮しながら、計画的な建替えや用途廃止等の検討を進めます。
公園	町民のスポーツ・レクリエーション、各種イベントや憩いの拠点となる施設を目指します。総合体育館はその必要性から、利用状況やコスト面を考慮しながら重点的に管理を継続します。
供給処理施設	生活に不可欠な機能として、その適切な維持に努めます。

序章

第1章

第2章

第3章

第4章

第5章

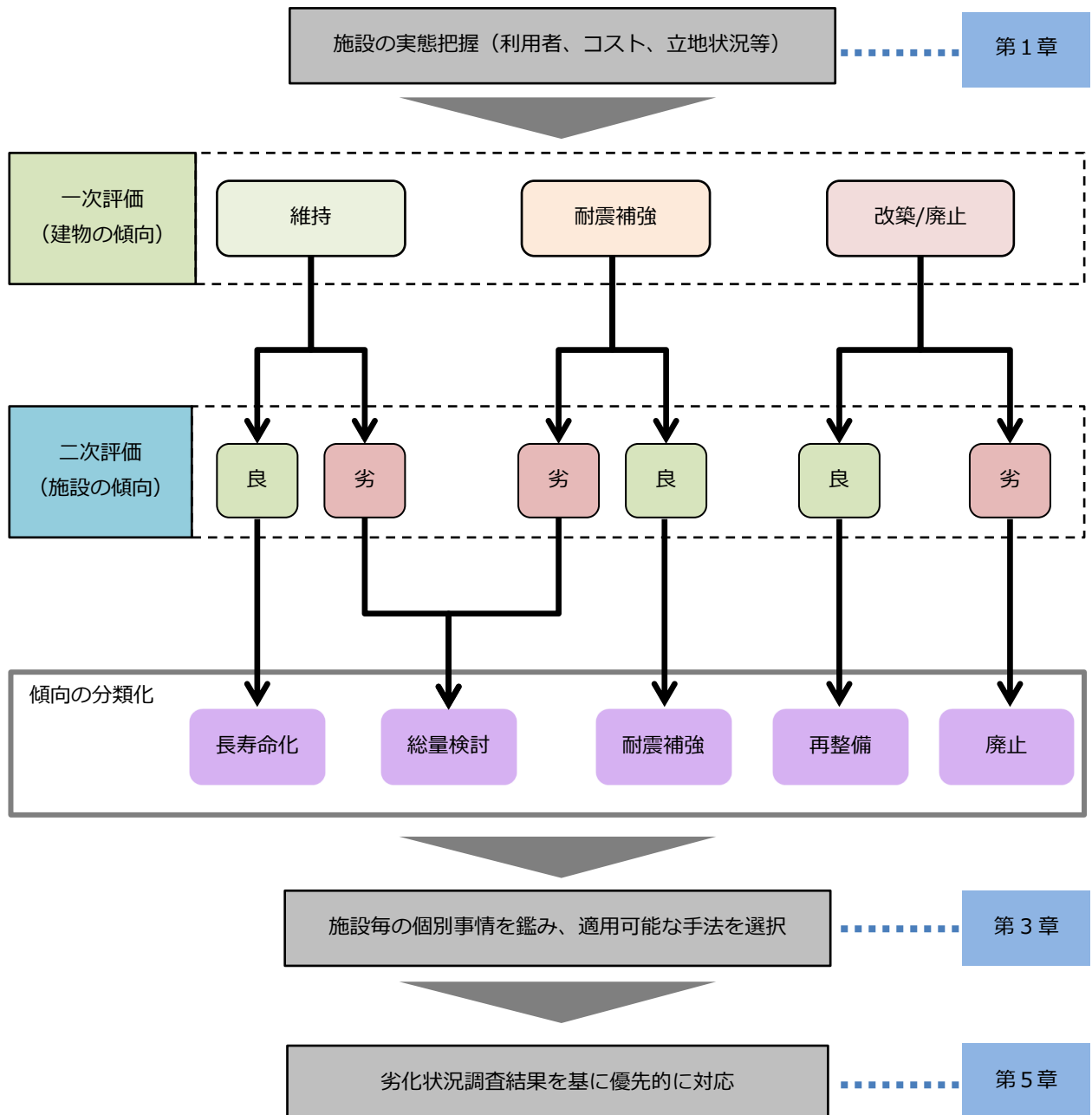
第6章

第2章 公共施設の傾向把握と整備手法の選択について

1 概要

公共施設の整備方針を定めるには、各施設の状況を把握し、第1章-5「施設の目指すべき姿」や限りある財源を踏まえて、客観的に検討する必要があります。施設調査で得られた内容を活用し、一次評価（建物の傾向）と二次評価（施設の傾向）を設定、これを踏まえて分類を行い、今後の整備手法を定めました。

図 2-1 傾向把握と整備手法の選択フロー



序章

第1章

第2章

第3章

第4章

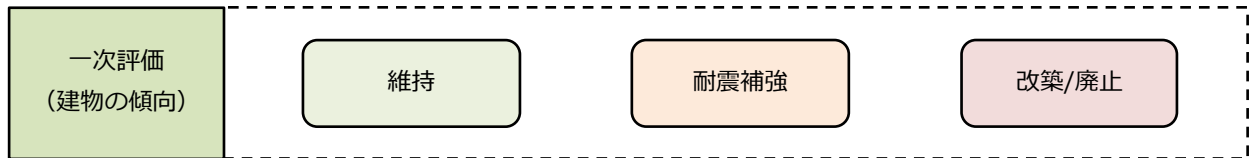
第5章

第6章

2 一次評価（建物の傾向）

（1）一次評価の概要

公共施設の整備方針を定めるうえで、当該建物が今後も継続的に利用することが可能であるかを評価する必要があります。構造躯体の健全性評価と目標使用年数または法定耐用年数を基に算出した老朽化度とを複合的に評価し、建物そのものに対して今後期待される対策として「維持」「耐震補強」「改築/廃止」の評価を行いました。（結果は第3章に記載）



（2）期待される対策の評価方法

経過年数割合と構造躯体の健全性の結果を組み合わせる評価を行いました。

表 2-1 一次評価判定表

経過年数割合 構造躯体の健全性	0～25%	26%～50%	51%～75%	75%～
長寿命化	維持	維持	維持	改築/廃止
耐震補強	耐震補強	耐震補強	耐震補強	改築/廃止
改築	維持	維持	維持	改築/廃止

（4）にて「長寿命化」・「耐震補強」と判定する建物は（3）で設定する目標使用年数を使用して、「改築」と判定された建物は法定耐用年数を使用して経過年数割合を算出したものを使用します。

表 2-2 使用する経過年数割合算定式の組み合わせ

構造躯体の健全性	経過年数割合算定式	
長寿命化	経過年数 ÷	目標 耐用年数
耐震補強		
改築		法定 耐用年数

(3) 目標使用年数の設定

■ 目標使用年数の設定

耐用年数には一般的に下記のような考え方があります。

種類	内容
法定耐用年数	減価償却費を算出するために、財務省令「減価償却資産の耐用年数に関する省令」で定められた年数をいいます。
機能的耐用年数	使用目的が当初の計画から変わったり、建築技術の革新や社会的要求が向上して陳腐化したりする年数をいいます。
経済的耐用年数	継続使用するための補修・修繕費その他の費用が、改築又は更新する費用を上回る年数をいいます。
物理的耐用年数	建築物の躯体や構造材が物理的あるいは化学的要因により劣化し、要求される性能を下回る年数をいいます。

一般的に耐用年数の長さは「物理的耐用年数> 経済的耐用年数> 法定耐用年数> 機能的耐用年数」の順です。

『建築物の耐久計画に関する考え方（(社)日本建築学会）』による鉄筋コンクリート造の主要な建物の目標耐用年数は60～80年とされています。

以上を参考に、本計画の対象とする建築物の目標使用年数を以下の通り設定します。

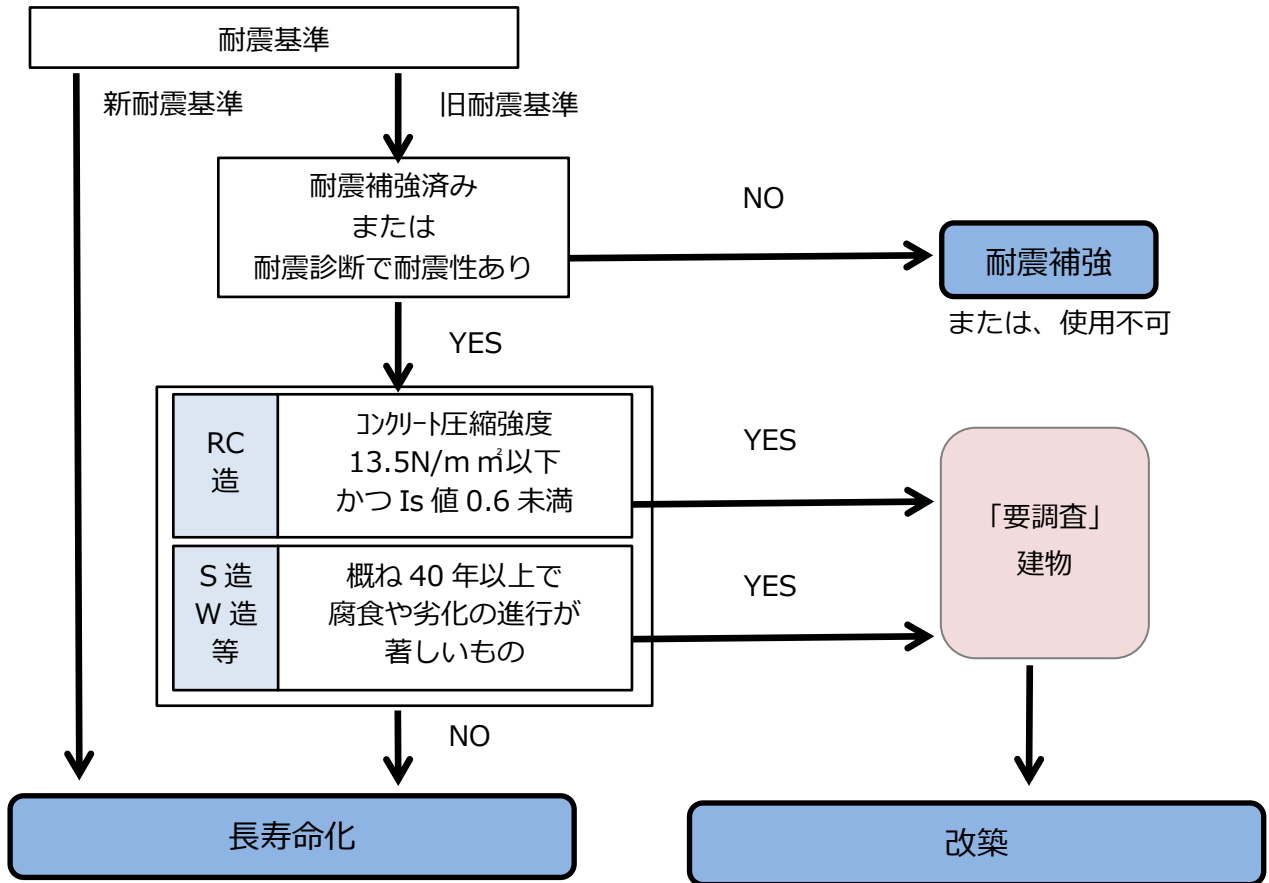
表 2-3 構造別の目標使用年数

建築物の構造		建築物の耐久計画における目標耐用年数	設定目標使用年数
鉄筋鉄骨コンクリート造・ 鉄筋コンクリート造	高品質	80～120年	80年
	普通品質	50～80年	
鉄骨造	重量鉄骨	高品質	80年
		普通品質	
	軽量鉄骨	30～50年	40年
ブロック造・れんが造		50～80年	60年
木造		50～80年	60年

(4) 構造躯体の健全性評価

構造躯体の健全性は各建物における耐震基準や診断結果を基に下記の健全性判定フローを用いて「長寿命化」・「耐震補強」・「改築」の判定を行いました。

図 2-2 健全性判定フロー



序章

第1章

第2章

第3章

第4章

第5章

第6章

各建物における判定結果は下表のとおりです。

表 2-4 構造躯体の健全性一覧

No	施設名称	棟名称	構造	耐震基準	耐震診断状況	耐震性有無	耐震補強工事	コンクリート圧縮強度	IS値	判定
集会施設										
A01	石川町公民館	石川町公民館	鉄骨鉄筋コンクリート	旧	未実施					耐震補強
A02	文教福祉複合施設（モトガッコ） _公民館	建物〔東棟〕_公民館	鉄骨鉄筋コンクリート	旧	実施		未実施	14	0.28	耐震補強
		建物〔西棟〕_公民館	鉄骨鉄筋コンクリート	旧	実施		未実施	18	0.36	耐震補強
A03	石川自治センター	事務室棟	木造	新						長寿命化
A04	沢田自治センター	事務室棟兼体育館	鉄骨造	新						長寿命化
		自治センター会議室	鉄骨鉄筋コンクリート	新						長寿命化
A05	山橋自治センター	事務所 1	鉄骨鉄筋コンクリート	新						長寿命化
A06	中谷自治センター	事務所	鉄骨鉄筋コンクリート	新						長寿命化
A07	母畑自治センター	母畑自治センター	木造	旧	未実施					耐震補強
A08	野木沢自治センター	事務所	木造	旧	実施		未実施		0.36	耐震補強
A09	石川町川井地区集会場	石川町川井地区集会場	木造	新						長寿命化
文化施設										
A10	石川町共同福祉施設	石川町共同福祉施設	鉄骨鉄筋コンクリート	新						長寿命化
A11	鈴木重謙屋敷	鈴木家主屋	木造	新						長寿命化
図書館										
B01	文教福祉複合施設（モトガッコ） _石川町立図書館	建物〔西棟〕_図書館	鉄骨鉄筋コンクリート	旧	実施		未実施	18	0.36	耐震補強
博物館等										
B02	石川町立歴史民俗資料館	歴史民俗資料館	鉄骨鉄筋コンクリート	旧	実施		未実施	18	0.382	耐震補強
		歴史民俗資料館（3階増築）	鉄骨鉄筋コンクリート	旧	実施		未実施	18	0.382	耐震補強
スポーツ施設										
C01	石川町体育館	屋内運動場	鉄骨造	旧	実施		実施	17	-	長寿命化
C02	石川町屋内ゲートボール場	石川町屋内ゲートボール場	鉄骨造	新						長寿命化
C03	石川町武道館	武道館	鉄骨鉄筋コンクリート	新						長寿命化
C04	石川町温水プール	石川町温水プール	鉄骨鉄筋コンクリート	新						長寿命化
レクリエーション施設・観光施設										
C05	母畑レークサイドセンター（その他施設）	海洋センター体育館	鉄骨鉄筋コンクリート	新						長寿命化
		管理事務所	鉄骨造	新						長寿命化
C06	母畑レークサイドセンター（レストハウス）	食堂兼宿泊施設	鉄骨鉄筋コンクリート	旧	未実施					耐震補強
産業系施設										
D01	石川町勤労青少年ホーム	勤労青少年ホーム	鉄骨鉄筋コンクリート	新						長寿命化
D02	中谷自治センター（農村婦人の家）	中谷自治センター（農村婦人の家）	木造	新						長寿命化
学校										
E01	石川町立沢田小学校	校舎	鉄筋コンクリート	新						長寿命化
		屋内運動場	鉄骨造	新						長寿命化
		共同調理場	鉄骨鉄筋コンクリート	新						長寿命化
E02	石川町立石川小学校	校舎	鉄筋コンクリート	新						長寿命化
		屋内運動場	鉄筋コンクリート	新						長寿命化
E03	石川町立野木沢小学校	校舎	鉄骨鉄筋コンクリート	旧	実施		実施	23	-	長寿命化
		屋内運動場	鉄骨造	新						長寿命化
E04	石川町立石川中学校	校舎 1	鉄骨鉄筋コンクリート	旧	実施		実施	18	-	長寿命化
		校舎 2	鉄骨鉄筋コンクリート	旧	実施		実施	18	-	長寿命化
		校舎 3	鉄骨鉄筋コンクリート	旧	実施		実施	18	-	長寿命化
		屋内運動場	鉄骨造	旧	実施		未実施	21	0.538	耐震補強
		給食室	鉄筋コンクリート	新						

第2章 公共施設の傾向把握と整備手法の選択について

No	施設名称	棟名称	構造	耐震基準	耐震診断状況	耐震性有無	耐震補強工事	コンクリート圧縮強度	IS値	判定
幼保・こども園										
F01	文教福祉複合施設（モトガッコ） 児童クラブ	建物（西棟）_児童クラブ	鉄骨鉄筋コンクリート	旧	実施		未実施	18	0.36	耐震補強
F02	第一保育所	第一保育所	鉄骨造	旧	未実施					耐震補強
F03	第二保育所	第二保育所	木造	新						長寿命化
F04	沢田児童館	沢田児童館	鉄骨鉄筋コンクリート	新						長寿命化
F05	野木沢保育所	野木沢保育所	木造	旧	実施		未実施		0.44	耐震補強
高齢福祉施設										
G01	石川町立養護老人ホーム長生園	園舎	鉄骨鉄筋コンクリート	新						長寿命化
		石川町老人デイサービスセンター長生園	鉄骨鉄筋コンクリート	新						長寿命化
G02	石川町老人福祉センター	石川町老人福祉センター	鉄骨造	旧	未実施					耐震補強
保健施設										
G03	石川町保健センター	石川町保健センター	鉄骨鉄筋コンクリート	新						長寿命化
庁舎等										
H01	石川町役場	庁舎	鉄筋コンクリート	新						長寿命化
消防施設										
H02	石川分団第1部屯所	石川分団第1部屯所	木造	新						長寿命化
H03	石川分団第2部屯所	石川分団第2部屯所	木造	旧	未実施					耐震補強
H04	石川分団第3部屯所	石川分団第3部屯所	木造	新						長寿命化
H05	石川分団第4部屯所	石川分団第4部屯所	木造	新						長寿命化
H06	石川分団第5部屯所	石川分団第5部屯所	木造	新						長寿命化
H07	石川分団第6部屯所	石川分団第6部屯所	木造	新						長寿命化
H08	石川分団第7部屯所	石川分団第7部屯所	木造	新						長寿命化
H09	石川分団第8部屯所	石川分団第8部屯所	木造	新						長寿命化
H10	石川分団第9部屯所	石川分団第9部屯所	木造	旧	未実施					耐震補強
H11	石川分団第10部屯所	石川分団第10部屯所	木造	新						長寿命化
H12	沢田分団第1部屯所	沢田分団第1部屯所	木造	新						長寿命化
H13	沢田分団第2部屯所	沢田分団第2部屯所	木造	旧	未実施					耐震補強
H14	沢田分団第3部屯所	沢田分団第3部屯所	木造	新						長寿命化
H15	沢田分団第4部屯所	沢田分団第4部屯所	木造	新						長寿命化
H16	山橋分団第1部屯所	山橋分団第1部消防屯所	木造	新						長寿命化
H17	山橋分団第2部屯所	山橋分団第2部屯所	木造	新						長寿命化
H18	山橋分団第3部屯所	山橋分団第3部屯所	木造	新						長寿命化
H19	山橋分団第4部屯所	山橋分団第4部屯所	木造	旧	未実施					耐震補強
H20	中谷分団第1部屯所	中谷分団第1部屯所	木造	旧	未実施					耐震補強
H21	中谷分団第2部屯所	中谷分団第2部屯所	木造	新						長寿命化
H22	中谷分団第3部屯所	中谷分団第3部屯所	木造	新						長寿命化
H23	中谷分団第4部屯所	中谷分団第4部屯所	木造	旧	未実施					耐震補強
H24	中谷分団第5部屯所	中谷分団第5部屯所	木造	旧	未実施					耐震補強
H25	母畑分団第1部屯所	母畑分団第1部屯所	木造	新						長寿命化
H26	母畑分団第2部屯所	母畑分団第2部屯所	木造	旧	未実施					耐震補強
H27	母畑分団第3部屯所	母畑分団第3部屯所	木造	旧	未実施					耐震補強
H28	野木沢分団第1部屯所	野木沢分団第1部屯所	木造	新						長寿命化
H29	野木沢分団第2部屯所	野木沢分団第2部屯所	木造	新						長寿命化
H30	野木沢分団第3部屯所	野木沢分団第3部屯所	木造	新						長寿命化
その他行政系施設										
H31	防除機械格納庫	防除機械格納庫	木造	新						長寿命化
H32	保健センター分室	事務室増	鉄骨造	新						長寿命化
H33	石川合同庁舎	石川合同庁舎	木造	新						長寿命化

序章

第1章

第2章

第3章

第4章

第5章

第6章

第2章 公共施設の傾向把握と整備手法の選択について

No	施設名称	棟名称	構造	耐震基準	耐震診断状況	耐震性有無	耐震補強工事	コンクリート圧縮強度	IS値	判定
公営住宅										
I01	一般住宅3	一ノ沢7-10	鉄骨造	新						長寿命化
I02	一般住宅1	高田3	木造	新						長寿命化
I03	一般住宅2	境ノ内4	木造	新						長寿命化
		境ノ内5	木造	新						長寿命化
I03	一般住宅2	境ノ内6	木造	新						長寿命化
I04	一般住宅7	当町20	木造	旧	未実施					耐震補強
I05	職員住宅3	鹿ノ坂教員住宅57	木造	旧	未実施					耐震補強
I06	職員住宅4	古館教員住宅60	木造	旧	未実施					耐震補強
I07	職員住宅7	屋敷ノ入教員住宅56	木造	旧	未実施					耐震補強
I08	職員住宅8	旧県教員住宅31	木造	旧	未実施					耐震補強
I09	職員住宅5	沢小校長住宅58	木造	旧	未実施					耐震補強
I10	職員住宅11	旧沢田中学校長住宅28	木造	旧	未実施					耐震補強
I11	職員住宅1	旧中谷第二小教員住宅37	木造	旧	未実施					耐震補強
I12	職員住宅2	中二小校長住宅37	木造	新						長寿命化
I13	職員住宅9	旧中谷第一小教員住宅41	木造	旧	未実施					耐震補強
I14	職員住宅12	職員住宅12	木造	旧	未実施					耐震補強
I15	一般住宅5	矢野11	木造	旧	未実施					耐震補強
I16	職員住宅10	旧野木沢中学校住宅55	木造	旧	未実施					耐震補強
公園										
J01	石川町総合運動公園（クリスタルパーク）	石川町総合体育館	鉄骨鉄筋コンクリート	新						長寿命化
供給処理施設										
K01	石川町小金塚団地 共同汚水処理施設【土地開発事業特別会計】	小金塚団地汚水処理場	鉄骨鉄筋コンクリート	新						長寿命化

序章

第1章

第2章

第3章

第4章

第5章

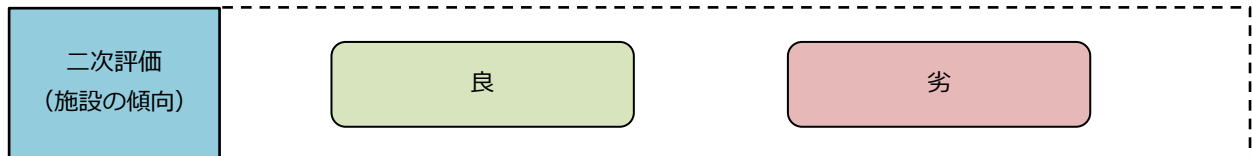
第6章

3 二次評価（施設の傾向）

（1）二次評価の概要

公共施設の整備手法を定めるには一次評価結果に加え、施設の必要性や公共性を評価することが必要です。利用者やコストといった施設の活用状況に加え、人口動態や立地状況、公的必要性などの外的要因を含めて評価を行いました。（結果は第3章に記載）

※同一施設内に複数の建物が存在するときは一体でサービスを提供しているとみなし、同一の評価を付与しています。



（2）評価項目

以下の5つの項目で評価を行います。

表 2-5 二次評価項目

評価項目		考え方
利用率	mあたり利用率	利用率が高い場合には当該施設は活用されているとみなし、 <u>利用率が高いほど高評価とします。</u> （単独施設のために比較が出来ない場合または利用者が不明の場合は3点とし、定員がある施設はその定員に対しての充足状況で評価します。また学校は「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引き」の【学校規模の標準を下回る場合の対応の目安】を参考に設定した基準をもとに評価しますが、あくまで標準的な基準を使用した評価であり、個別の事情を考慮しない定量評価であることに留意が必要です。） なお、消防施設は有事の際に利用することが考えられるため、同一地区内における各屯所の配置間隔で評価を行っています。
	小学校学級数	
	中学校学級数	
	保育所等定員充足率	
	消防施設立地状況 町営住宅 入居率	
1人当たりの ネットコスト		ネットコストとは、施設の運営維持・管理に要するコスト（減価償却費を含む）から収入を引いたものです。 <u>ネットコストが多額である場合には、施設を運営、維持管理することによる公費負担が大きいとともに整備時の費用も賄えていないと考えられるため、負担軽減の観点からは早期見直しをするべき施設となります。そのため、ネットコストが分類の平均よりも少ないほど、高評価とします。</u>
人口密度		<u>区域内の人口が多い場合</u> 、その施設は利便性に優れていると想定し、 <u>高評価</u> とします。一方、人口が少ない場合は当該施設を利用する際の距離が遠くなっている等で利便性が低下していると考えられるため、 <u>低評価</u> とします。
ハザードマップ		公共施設は災害発生時の避難場所として維持することが求められるため、災害危険個所からの距離や想定浸水範囲をもとに評価をします。距離が遠く、想定浸水高が低ければ高評価とします。
公的必要性		住民が社会生活を営む上で、日常的に必要とするサービスを提供する施設や政策的なサービスを提供する施設は「必需的」かつ「公共的」であるため高評価とし、より充実した生活を送るために個人の価値観や好みにより選択して利用する施設は「選択的」かつ「民間的」であるため低評価とします。

(3) 配点と判定手法

各項目の配点は下記のとおりです。

表 2-6 二次評価配点表

評価項目	配点 (a)					重付 係数 (b)	評価点 満点 (a×b)	
	1点	2点	3点	4点	5点			
利用率	分類毎に年間利用者数1人あたりのm数平均より					1	5	
	mあたり 利用率	20%以上	+10%以上	±10%	-10%未満			-20%未満
	小学校 学級数	5学級以下	6学級	7~8学級	9~11学級			12学級以上
	中学校 学級数	3学級以下	4~5学級	6~8学級	9~11学級			12学級以上
	保育所等 定員充足率	定員充足率 20%未満	20%以上 40%未満	40%以上 60%未満	60%以上 80%未満			80%以上
	消防施設 立地状況	同一地区の消防施設配置間隔が						
		600m以内	900m以内	1200m以内	1500m以内			1500m以上
町営住宅 入居率	入居率 20%未満	20%以上 40%未満	40%以上 60%未満	60%以上 80%未満	80%以上			
1人当たりの ネットコスト	分類毎に年間利用者数1人あたりのネットコスト平均より					1	5	
	+20%以上	+10%以上	±10%	-10%未満	-20%未満			
人口密度	500mメッシュ内人口が多い順に					1	5	
	下位 20%未満	上位 80%以上 60%未満	上位 60%以上 40%未満	上位 40%以上 20%未満	上位 20%以上			
ハザードマップ	災害危険箇所/想定浸水高より					1	5	
	危険箇所 /2.0m以上	—	100m圏内 /2.0m未満	200m圏内 /0.5m未満	200m圏外 /範囲外			
公的必要性	当該施設で提供しているサービスが公共的かつ必需的か					1	5	
	どちらでも ない	—	どちらか一方	—	双方			
計						—	25	

16点以上が「良」、15点以下を「劣」とし、一次評価の結果も踏まえて建物の傾向を「長寿命化」、「総量検討」、「耐震補強」、「再整備」、「廃止」のいずれかに分類します。

4 適用可能な手法の選択

(1) 適用可能な手法の概要

二次評価で分類した「長寿命化」、「総量検討」、「耐震補強」、「再整備」、「廃止」を基に点数化が難しい施設毎の個別事情を鑑み、適用可能な手法を選択します。(結果は第3章に記載)



(2) 適用可能な手法の種類

適用可能な手法は分類毎に原則、下記の手法を選択します。

傾向分類	手法選択肢
長寿命化	「長寿命化」、「用途転用」、「運営改善」
総量検討	「集約化」、「複合化」、「用途転用」、「運営改善」、「廃止」
耐震補強	「耐震補強」、「集約化」、「複合化」、「廃止」
再整備	「建替」、「集約化」、「複合化」、「運営改善」
廃止	「廃止」、「運営改善」

なお、施設毎の個別事情や他施設の状況、本町の財政状況や政策を鑑みた場合、分類を超えた手法を選択することもあります。

5 劣化状況調査

(1) 劣化調査の概要

建物を継続利用していくためには劣化している箇所に対し適切に修繕を行う必要があります。各建物の建築部位及び設備別に劣化状況の調査を実施し、早急に対応する必要がある部位や建物を選定しました。

定期点検結果やこれまでの修繕状況を踏まえ、現地にて目視調査を行い、その状況や経過年数などを参考に評価を行いました。また、優先順位を検討するための参考として各評価を点数化し、劣化度として算定しました。

<経過年数による評価>

部位	評価	基準
屋根（笠木、屋根樋） 外部（カーテンウォール、外部天井、外部雑） 内部仕上（内壁、内部天井、内部開口部、内部雑） 内部/外部建築（避難出口、階段） 電気設備（全て） 機械設備（全て）	A	20年未満
	B	20～40年
	C	40年以上
	D	経過年数に関わらず著しい劣化事象がある場合

<目視による評価>

部位	評価	基準
屋根・屋上（屋根防水、屋根材） 外部（外壁、外部開口部） 内部仕上（内部床）	A	概ね良好
	B	部分的に劣化（安全上、機能上、問題なし）
	C	広範囲に劣化（安全上、機能上、不具合発生の兆し）
	D	早急に対応する必要がある（安全上、機能上、問題あり） （躯体の耐久性に影響を与えている） （設備が故障し施設運営に支障を与えている）等

(2) 劣化度の算定

劣化度とは各部位について劣化状況を4段階で評価した結果を数値化した指標です。

【劣化度の算定方法】

- 各部位の劣化状況評価結果を、評価別の点数に置き換えます。劣化状況が悪いものほど点数が高くなります。

評価	A	B	C	D
劣化点数	10	40	70	100

- 部位の劣化が建物全体へ影響を与えるものほど重視するため、部位ごとに重要度の係数を設定し、劣化点数に乗じて計算します。重要度係数は以下の4段階で設定します。

判断基準	重要度係数
事後保全でよい	0.25
計画保全が望ましい	0.50
計画保全すべき	0.75
特に安全に関わる	1.00

- 計算した劣化点数を、施設に存在する部位数で除することで劣化度を算定します。この数値が高いほど、劣化していると判定します。

劣化点数

÷

部位数

=

劣化度

【部位別の重要度係数】

	部位	判断基準	重要度係数	
序章	外構	地盤	特に安全に関わる	1.00
		空地・通路等	事後保全でよい	0.25
		塀、フェンス等	事後保全でよい	0.25
		擁壁・がけ等	事後保全でよい	0.25
第1章	躯体	基礎	特に安全に関わる	1.00
		鉄筋コンクリート造及び鉄骨鉄筋コンクリート造	特に安全に関わる	1.00
		木造	特に安全に関わる	1.00
		組積造	特に安全に関わる	1.00
		コンクリートブロック造	特に安全に関わる	1.00
		鉄骨造	特に安全に関わる	1.00
第2章	屋根	屋根防水	計画保全すべき	0.75
		笠木	計画保全すべき	0.75
		ドレーン、樋	計画保全すべき	0.75
		屋根スレート・かわら類等	計画保全すべき	0.75
第3章	外部	外装仕上げ材等	計画保全すべき	0.75
		カーテンウォール	計画保全が望ましい	0.50
		外部天井	計画保全すべき	0.75
		外部雑	事後保全でよい	0.25
		外部開口部	計画保全が望ましい	0.50
第4章	内部	床仕上げ材	事後保全でよい	0.25
		内壁仕上げ材	事後保全でよい	0.25
		天井仕上げ材	事後保全でよい	0.25
		内部開口部	事後保全でよい	0.25
		内部雑	事後保全でよい	0.25
		避難経路、階段等	特に安全に関わる	1.00
第5章	電気設備	通信・情報（防災）	特に安全に関わる	1.00
		電力	事後保全でよい	0.25
		避雷・屋外	事後保全でよい	0.25
		受変電	計画保全が望ましい	0.50
		発電・静止形電源	計画保全が望ましい	0.50
		中央監視	計画保全すべき	0.75
第6章	機械設備	空調	計画保全が望ましい	0.50
		換気	計画保全が望ましい	0.50
		排煙	特に安全に関わる	1.00
		自動制御	計画保全が望ましい	0.50
		給排水衛生	計画保全すべき	0.75
		消火	特に安全に関わる	1.00
		ガス	計画保全が望ましい	0.50
		昇降機その他	計画保全が望ましい	0.50

第3章 公共施設の状況と整備手法

1 集会施設

(1) 施設の概要

本町の集会施設は9施設で公民館、自治センター、コミュニティセンターからなります。利用面積の合計は約6,337㎡で本計画における公共施設の約10.8%を占めています。これらの施設は、生活文化の振興や社会福祉の増進、交流を通じた地域の活性化に寄与しています。



(写真は文教福祉複合施設(モトガッコ) 公民館)

表 3-1-1 集会施設の基本情報

地区	No	施設名称	建物名称	建築年度	利用面積 (㎡)	構造	耐震基準	利用者数 (人)	ネットコスト (フルコスト-収入) (円)
公民館									
石川	A01	石川町公民館	石川町公民館	昭和48年度	1020.6	鉄骨鉄筋コンクリート	旧	8,709	10,851,863
	A02	文教福祉複合施設(モトガッコ) 公民館	建物(東棟) 公民館	昭和45年度	825.89	鉄骨鉄筋コンクリート	旧	-	-
			建物(西棟) 公民館	昭和44年度	81.18	鉄骨鉄筋コンクリート	旧	-	-
小分類計					1927.67			8,709	10,851,863
自治センター									
石川	A03	石川自治センター	事務室棟	昭和60年度	342.97	木造	新	6,197	8,118,716
沢田	A04	沢田自治センター	事務室棟兼体育館	平成4年度	1153.00	鉄骨造	新	6,575	15,085,094
			自治センター会議室	平成3年度	535.50	鉄骨鉄筋コンクリート	新		
山橋	A05	山橋自治センター	事務所1	昭和56年度	803.49	鉄骨鉄筋コンクリート	新	5,027	13,783,049
中谷	A06	中谷自治センター	事務所	昭和55年度	716.50	鉄骨鉄筋コンクリート	新	12,573	10,593,182
母畑	A07	母畑自治センター	母畑自治センター	昭和49年度	364.61	木造	旧	2,517	9,541,991
野木沢	A08	野木沢自治センター	事務所	昭和48年度	349.00	木造	旧	14,490	8,714,339
小分類計					4265.07			47,379	65,836,371

第3章 公共施設の状況と整備手法

地区	No	施設名称	建物名称	建築年度	利用面積 (㎡)	構造	耐震基準	利用者数 (人)	ネットコスト (フルコスト-収入) (円)
コミュニティセンター									
沢田	A09	石川町川井地区集会場	石川町川井地区集会場	平成7年度	144.39	木造	新	260	356,822
小分類計					144.39			260	356,822
中分類計					6337.13			56,348	77,045,056

(2) 評価と劣化調査結果

表 3-2-1 集会施設の評価と傾向分類

No	施設名称	建物名称	一次評価			二次評価							傾向分類
			健全性	経過年数割合(%)	一次評価	利用率	1人当たりネットコスト	人口密度	ハザードマップ	公的必要性	合計点	二次評価	
公民館													
A01	石川町公民館	石川町公民館	耐震補強	57.50	耐震補強	3	3	5	3	3	17	良	耐震補強
A02	文教福祉複合施設 (モトガッコ) 公民館	建物〔西棟〕_公民館	耐震補強	62.50	耐震補強	3	3	5	3	3	17	良	耐震補強
		建物〔東棟〕_公民館	耐震補強	61.25	耐震補強								耐震補強
自治センター													
A03	石川自治センター	事務室棟	長寿命化	56.67	維持	5	3	5	3	3	19	良	長寿命化
A04	沢田自治センター	事務室棟兼体育館	長寿命化	33.75	維持	1	1	4	5	3	14	劣	総量検討
		自治センター会議室	長寿命化	35.00	維持								総量検討
A05	山橋自治センター	事務所 1	長寿命化	47.50	維持	1	1	4	5	3	14	劣	総量検討
A06	中谷自治センター	事務所	長寿命化	48.75	維持	5	5	4	4	3	21	良	長寿命化
A07	母畑自治センター	母畑自治センター	耐震補強	75.00	耐震補強	1	1	4	3	3	12	劣	総量検討
A08	野木沢自治センター	事務所	耐震補強	76.67	改築/廃止	5	5	5	5	3	23	良	再整備
コミュニティセンター													
A09	石川町川井地区集会場	石川町川井地区集会場	長寿命化	40.00	維持	1	3	1	5	3	13	劣	総量検討

表 3-3-1 集会施設の劣化調査結果一覧

No	施設名称	建物名称	外構	躯体	屋根	外部	内部	電気設備	機械設備	劣化度
公民館										
A01	石川町公民館	石川町公民館	C	C	C	C	C	C	C	43.02
A02	文教福祉複合施設（モトガッコ） 公民館	建物〔東棟〕_公民館	A	A	A	A	A	A	A	5.98
		建物〔西棟〕_公民館	A	A	A	A	A	A	A	5.98
自治センター										
A03	石川自治センター	事務室棟	C	C	C	C	C	C	C	39.57
A04	沢田自治センター	事務室棟兼体育館	A	B	B	B	B	B	B	24.00
		自治センター会議室	A	B	C	B	B	B	B	23.43
A05	山橋自治センター	事務所1	B	B	B	B	B	B	B	25.28
A06	中谷自治センター	事務所	C	C	C	C	C	C	C	41.73
A07	母畑自治センター	母畑自治センター	C	C	C	C	C	C	C	40.57
A08	野木沢自治センター	事務所	C	C	C	C	C	C	C	43.75
コミュニティーセンター										
A09	石川町川井地区集会場	石川町川井地区集会場	B	B	A	A	A	B	B	24.22

序章

第1章

第2章

第3章

第4章

第5章

第6章

(3) 今後の方向性

公民館・自治センターは地域に密着している施設であり、地域コミュニティの形成や生涯学習活動の拠点施設、避難所として、各地区に配置する必要があります。継続的に維持管理・修繕を行い、長寿命化を推進し、経過年数以上に劣化が進んでいる建物は優先的に対応します。なお、将来的に建替えが必要な時期となった場合は、利用者や立地の状況、近隣施設との複合化も視野に入れ、対応します。

※石川町公民館については、公民館機能を文教福祉複合施設（モトガッコ）_公民館に移転し、現在は石川町史編纂室として使用されています。町史編纂室機能は他施設との複合化を検討し、建物は複合化先施設が決定するまでの間事後保全とします。

表 3-4-1 集会施設の整備手法

No	施設名称	建物名称	一次評価	二次評価	分類	劣化度	整備手法
公民館							
A01	石川町公民館	石川町公民館	耐震補強	良	耐震補強	43.02	運営改善
A02	文教福祉複合施設（モトガッコ）_公民館	建物〔西棟〕_公民館	耐震補強	良	耐震補強	5.98	耐震補強
		建物〔東棟〕_公民館	耐震補強	良	耐震補強	5.98	耐震補強
自治センター							
A03	石川自治センター	事務室棟	維持	良	長寿命化	39.57	長寿命化
A04	沢田自治センター	事務室棟兼体育館	維持	劣	総量検討	24.00	長寿命化
		自治センター会議室	維持	劣	総量検討	23.43	長寿命化
A05	山橋自治センター	事務所1	維持	劣	総量検討	25.28	長寿命化
A06	中谷自治センター	事務所	維持	良	長寿命化	41.73	長寿命化
A07	母畑自治センター	母畑自治センター	耐震補強	劣	総量検討	40.57	建替
A08	野木沢自治センター	事務所	改築/廃止	良	再整備	43.75	建替
コミュニティセンター							
A09	石川町川井地区集会場	石川町川井地区集会場	維持	劣	総量検討	24.22	運営改善

2 文化施設

(1) 施設の概要

「鈴木重謙屋敷」と「石川町共同福祉施設」の2施設が該当します。利用面積の合計は約861㎡で全体の約1.5%を占めます。「鈴木重謙屋敷」は、郷土教育の場として、また誰もが集い交流活動ができる、まちなかのにぎわいの場として開放されています。



(写真(は鈴木重謙屋敷跡)

表 3-1-2 文化施設の基本情報

地区	No	施設名称	建物名称	建築年度	利用面積 (㎡)	構造	耐震 基準	利用者数 (人)	ネットコスト (フルコスト-収入) (円)
文化会館									
石川	A10	石川町共同福祉施設(産業振興課)	石川町共同福祉施設	昭和60年度	708.72	鉄骨鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ	新	13,365	447,190
	A11	鈴木重謙屋敷	鈴木家主屋	平成29年度	152.23	木造	新	2,998	8,942,204
小分類計					860.95			16,363	9,389,394
中分類計					860.95			16,363	9,389,394

(2) 評価と劣化調査結果

表 3-2-2 文化施設の評価と傾向分類

No	施設名称	建物名称	一次評価			二次評価							傾向分類
			健全性	経過年数割合(%)	一次評価	利用率	1人当たりネットコスト	人口密度	ハザードマップ	公的必要性	合計点	二次評価	
文化会館													
A10	石川町共同福祉施設（産業振興課）	石川町共同福祉施設	長寿命化	42.50	維持	3	5	5	3	3	19	良	長寿命化
A11	鈴木重謙屋敷	鈴木家主屋	長寿命化	3.33	維持	3	1	5	1	3	13	劣	総量検討

表 3-3-2 文化施設の劣化調査結果一覧

No	施設名称	建物名称	外構	躯体	屋根	外部	内部	電気設備	機械設備	劣化度
文化会館										
A10	石川町共同福祉施設（産業振興課）	石川町共同福祉施設	B	B	B	B	B	B	B	23.63
A11	鈴木重謙屋敷	鈴木家主屋	A	A	A	A	A	A	A	6.19

(3) 今後の方向性

地域住民の身近な文化活動やイベント開催の拠点施設、また郷土教育や、誰もが集い交流活動ができる、まちなかのにぎわいの場として活用されています。平成 29 年度と昭和 60 年度の建築であり、いずれも建物に目立った劣化は見受けられません。計画的な維持管理により施設の安心・安全を確保します。

表 3-4-2 文化施設の整備手法

No	施設名称	建物名称	一次評価	二次評価	分類	劣化度	整備手法
文化会館							
A10	石川町共同福祉施設（産業振興課）	石川町共同福祉施設	維持	良	長寿命化	23.63	長寿命化
A11	鈴木重謙屋敷	鈴木家主屋	維持	劣	総量検討	6.19	運営改善

3 図書館

(1) 施設の概要

文教福祉複合施設（モトガッコ）_石川町立図書館は、旧石川小学校の校舎を「公民館、図書館、屋内遊び場を兼ね備えた文教福祉総合施設」として新たに利活用したものです。利用面積は約 719 m²です。



(写真は文教福祉複合施設（モトガッコ）_石川町立図書館)

表 3-1-3 図書館の基本情報

地区	No	施設名称	建物名称	建築年度	利用面積 (m ²)	構造	耐震 基準	利用者数 (人)	ネットコスト (フルコスト-収入) (円)
図書館									
石川	B01	文教福祉複合施設（モトガッコ）_ 石川町立図書館	建物〔西棟〕_図書館	昭和44年度	719.06	鉄骨鉄筋コンクリート	旧	30,900	17,688,001
小分類計					719.06			30,900	17,688,001
中分類計					719.06			30,900	17,688,001

(2) 評価と劣化調査結果

表 3-2-3 図書館の評価と傾向分類

No	施設名称	建物名称	一次評価			二次評価							傾向分類
			健全性	経過年数割合(%)	一次評価	利用率	1人当たりネットコスト	人口密度	ハザードマップ	公的必要性	合計点	二次評価	
図書館													
B01	文教福祉複合施設(モトガッコ)_石川町立図書館	建物〔西棟〕_図書館	耐震補強	62.50	耐震補強	3	3	5	3	3	17	良	耐震補強

表 3-3-3 図書館の劣化調査結果一覧

No	施設名称	建物名称	外構	躯体	屋根	外部	内部	電気設備	機械設備	劣化度
図書館										
B01	文教福祉複合施設(モトガッコ)_石川町立図書館	建物〔西棟〕_図書館	A	A	A	A	A	A	A	5.98

(3) 今後の方向性

文教福祉複合施設(モトガッコ)_石川町立図書館は、旧石川小学校校舎に大規模改修を施し、2019年4月にオープンした複合施設です。改修は行いましたが、建設後50年以上経過しているため不具合が多く、また、コロナ禍の新しい生活様式に対応するためには、更なる改修や修繕が必要となっているため、計画的な維持管理により施設の安全・安心を確保します。なお、図書館の蔵書図書数を増やすには、書架の配置換えや増設等も必要となります。さらに、図書館の利用拡大を図るため、読み聞かせ会などの事業の実施や蔵書図書の増加、図書情報の提供、郷土の自然や歴史に関する書籍の配置など図書館機能の充実を図り、町民が利用しやすい環境づくりに努め、学校や自治センター、県立図書館等との連携を図るとともに、町民との協働による運営体制を構築していきます。

表 3-4-3 図書館の整備手法

No	施設名称	建物名称	一次評価	二次評価	分類	劣化度	整備手法
図書館							
B01	文教福祉複合施設(モトガッコ)_石川町立図書館	建物〔西棟〕_図書館	耐震補強	良	耐震補強	5.98	耐震補強

4 博物館等

(1) 施設の概要

石川町立歴史民俗資料館は、文化財の保存・活用と町民教育、学術及び文化発展への寄与を目的として設置されました。日本三大鉱物産地である石川地方産出の岩石・鉱物標本を中心に展示しています。



(写真は石川町立歴史民俗資料館)

表 3-1-4 博物館等の基本情報

地区	No	施設名称	建物名称	建築年度	利用面積 (㎡)	構造	耐震 基準	利用者数 (人)	ネットコスト (フルコスト-収入) (円)
博物館等									
石川	B02	石川町立歴史民俗資料館	歴史民俗資料館	昭和49年度	358.00	鉄骨鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ	旧	2,335	8,194,021
			歴史民俗資料館 (3階増築)	昭和54年度	117.73	鉄骨鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ	旧		
小分類計					475.73			2,335	8,194,021
中分類計					475.73			2,335	8,194,021

(2) 評価と劣化調査結果

表 3-2-4 博物館等の評価と傾向分類

No	施設名称	建物名称	一次評価			二次評価							傾向分類
			健全性	経過年数割合(%)	一次評価	利用率	1人当たりネットコスト	人口密度	ハザードマップ	公的必要性	合計点	二次評価	
博物館等													
B02	石川町立歴史民俗資料館	歴史民俗資料館	耐震補強	56.25	耐震補強	3	3	5	3	3	17	良	耐震補強
		歴史民俗資料館（3階増築）	耐震補強	50.00	耐震補強								耐震補強

表 3-3-4 博物館等の劣化調査結果一覧

No	施設名称	建物名称	一次評価	二次評価	分類	劣化度	整備手法
博物館等							
B02	石川町立歴史民俗資料館	歴史民俗資料館	耐震補強	良	耐震補強	41.36	廃止
		歴史民俗資料館（3階増築）	耐震補強	良	耐震補強	40.57	廃止

(3) 今後の方向性

石川町立歴史民俗資料館の建物はいずれも建築後40年を経過し、老朽化対策ならびに耐震性確保が喫緊の課題です。また、年々増加する鉱物資料や文化・歴史資料等により、展示スペース及び収蔵庫に空きがない状況となっています。さらに、エレベータや空調設備もないことから、観覧者に不便をかけている現状にあります。このことから、民間から取得した旧結婚式場を改修し移転したいと考えています。

表 3-4-4 博物館等の整備手法

No	施設名称	建物名称	一次評価	二次評価	分類	劣化度	整備手法
博物館等							
B02	石川町立歴史民俗資料館	歴史民俗資料館	耐震補強	良	耐震補強	41.36	廃止
		歴史民俗資料館（3階増築）	耐震補強	良	耐震補強	40.57	廃止

5 スポーツ施設

(1) 施設の概要

対象施設は「石川町体育館」「石川町屋内ゲートボール場」「石川町武道館」「石川町温水プール」の4施設で、利用面積の合計は約4,002㎡で全体の約6.8%を占めます。町民の健康増進並びにスポーツの振興を目的に設置されています。



(写真は石川町体育館)

表 3-1-5 スポーツ施設の基本情報

地区	No	施設名称	建物名称	建築年度	利用面積 (㎡)	構造	耐震 基準	利用者数 (人)	ネットコスト (フルコスト-収入) (円)
スポーツ施設									
石川	C01	石川町体育館	屋内運動場	昭和47年度	885.00	鉄骨造	旧	4,078	3,273,396
沢田	C02	石川町屋内ゲートボール場	石川町屋内ゲートボール場	平成7年度	824.00	鉄骨造	新	1,849	2,309,168
中谷	C03	石川町武道館	武道館	昭和61年度	933.00	鉄骨鉄筋コンクリート	新	-	5,101,166
小分類計					2642.00			5,927	10,683,730
プール									
中谷	C04	石川町温水プール	石川町温水プール	平成9年度	1360.02	鉄骨鉄筋コンクリート	新	15,027	56,033,194
小分類計					1360.02			15,027	56,033,194
中分類計					4002.02			20,954	66,716,924

(2) 評価と劣化調査結果

表 3-2-5 スポーツ施設の評価と傾向分類

No	施設名称	建物名称	一次評価			二次評価							傾向分類
			健全性	経過年数割合(%)	一次評価	利用率	1人当たりネットコスト	人口密度	ハザードマップ	公的必要性	合計点	二次評価	
スポーツ施設													
C01	石川町体育館	屋内運動場	長寿命化	58.75	維持	2	5	5	1	1	14	劣	総量検討
C02	石川町屋内ゲートボール場	石川町屋内ゲートボール場	長寿命化	30.00	維持	1	5	4	5	1	16	良	長寿命化
C03	石川町武道館	武道館	長寿命化	41.25	維持	3	3	5	3	1	15	劣	総量検討
プール													
C04	石川町温水プール	石川町温水プール	長寿命化	27.50	維持	5	2	5	4	1	17	良	長寿命化

表 3-3-5 スポーツ施設の劣化調査結果一覧

No	施設名称	建物名称	外構	躯体	屋根	外部	内部	電気設備	機械設備	劣化度
スポーツ施設										
C01	石川町体育館	屋内運動場	C	C	D	D	C	C	C	43.96
C02	石川町屋内ゲートボール場	石川町屋内ゲートボール場	B	B	B	B	B	B	B	26.22
C03	石川町武道館	武道館	B	B	B	B	B	B	B	23.21
プール										
C04	石川町温水プール	石川町温水プール	B	B	B	B	B	B	B	24.02

(3) 今後の方向性

旧石川町体育館は、平成30年度に解体し、現在は旧石川小学校体育館に耐震補強等を行い町体育館として開放しています。石川町武道館については現在目立った損傷は見受けられませんが、石川町温水プールは継続的な維持管理・修繕により、長寿命化を推進するとともに、民間企業への指定管理制度や、管理委託などの導入を検討する必要があります。

表 3-4-5 スポーツ施設の整備手法

No	施設名称	建物名称	一次評価	二次評価	分類	劣化度	整備手法
スポーツ施設							
C01	石川町体育館	屋内運動場	維持	劣	総量検討	43.96	長寿命化
C02	石川町屋内ゲートボール場	石川町屋内ゲートボール場	維持	良	長寿命化	26.22	長寿命化
C03	石川町武道館	武道館	維持	劣	総量検討	23.21	長寿命化
プール							
C04	石川町温水プール	石川町温水プール	維持	良	長寿命化	24.02	長寿命化

6 レクリエーション施設・観光施設

(1) 施設の概要

母畑レークサイドセンターは、全天候型テニスコート・アイススケート場(冬季のみ)・体育館などのスポーツ施設を完備したスポーツレクリエーション施設で、一般社団法人母畑レークサイドセンター運営協会により運営されています。利用面積の合計は約2,328㎡で全体の約4.0%を占めます。



(写真は母畑レークサイドセンター（その他施設）)

表 3-1-6 レクリエーション施設・観光施設の基本情報

地区	No	施設名称	建物名称	建築年度	利用面積 (㎡)	構造	耐震 基準	利用者数 (人)	ネットコスト (フルコスト-収入) (円)
レクリエーション施設									
母畑	C05	母畑レークサイドセンター（その他施設）	海洋センター体育館	昭和59年度	1102.27	鉄骨鉄筋コンクリート	新	39,498	2,820,587
			管理事務所	昭和56年度	552.16	鉄骨造	新		
	C06	母畑レークサイドセンター（レストハウス）	食堂兼宿泊施設	昭和49年度	674.00	鉄骨鉄筋コンクリート	旧	4,583	2,873,265
小分類計					2328.43			44,081	5,693,852
中分類計					2328.43			44,081	5,693,852

(2) 評価と劣化調査結果

表 3-2-6 レクリエーション施設・観光施設の評価と傾向分類

No	施設名称	建物名称	一次評価			二次評価							傾向分類
			健全性	経過年数割合(%)	一次評価	利用率	1人当たりネットコスト	人口密度	ハザードマップ	公的必要性	合計点	二次評価	
レクリエーション施設													
C05	母畑レークサイドセンター (その他施設)	海洋センター体育館	長寿命化	43.75	維持	5	5	1	5	1	17	良	長寿命化
		管理事務所	長寿命化	47.50	維持								長寿命化
C06	母畑レークサイドセンター (レストハウス)	食堂兼宿泊施設	耐震補強	56.25	耐震補強	1	1	1	5	1	9	劣	総量検討

表 3-3-6 レクリエーション施設・観光施設の劣化調査結果一覧

No	施設名称	建物名称	外構	躯体	屋根	外部	内部	電気設備	機械設備	劣化度
レクリエーション施設										
C05	母畑レークサイドセンター (その他施設)	海洋センター体育館	B	B	B	B	B	B	B	23.65
		管理事務所	B	B	B	C	C	B	B	26.63
C06	母畑レークサイドセンター (レストハウス)	食堂兼宿泊施設	C	C	C	C	C	C	D	42.41

(3) 今後の方向性

母畑レークサイドセンターは昭和59年度に整備された総合レジャー施設であり、体育館、アイススケート場、グラウンド等を備えていますが、老朽化が進行しているとともに、多額のコストがかかっています。現在休止中のレストハウスを含め、老朽、未利用施設の廃止や民間活力の導入等、今後さらなる在り方の検討が必要です。

※母畑レークサイドセンター (レストハウス) については、施設の方向性が定まるまでの間事後保全とし、必要に応じた修繕を実施します。

表 3-4-6 レクリエーション施設・観光施設の整備手法

No	施設名称	建物名称	一次評価	二次評価	分類	劣化度	整備手法
レクリエーション施設							
C05	母畑レークサイドセンター (その他施設)	海洋センター体育館	維持	良	長寿命化	23.65	長寿命化
		管理事務所	維持	良	長寿命化	26.63	長寿命化
C06	母畑レークサイドセンター (レストハウス)	食堂兼宿泊施設	耐震補強	劣	総量検討	42.41	運営改善

7 産業系施設

(1) 施設の概要

「石川町勤労青少年ホーム」と「中谷自治センター（農村婦人の家）」からなり、利用面積の合計は約 1,120 m²で全体の約 1.9%を占めます。勤労青少年の健全な育成、福祉の増進を図るために設置された施設です。



(写真は中谷自治センター（農村婦人の家）)

表 3-1-7 産業系施設の基本情報

地区	No	施設名称	建物名称	建築年度	利用面積 (m ²)	構造	耐震 基準	利用者数 (人)	ネットコスト (フルコスト-収入) (円)
勤労会館									
石川	D01	石川町勤労青少年ホーム	勤労青少年ホーム	昭和57年度	801.87	鉄骨鉄筋コンクリート	新	8,556	5,487,294
中谷	D02	中谷自治センター（農村婦人の家）	中谷自治センター（農村婦人の家）	昭和55年度	317.70	木造	新	5,559	3,593,727
小分類計					1119.57			14,115	9,081,021
中分類計					1119.57			14,115	9,081,021

(2) 評価と劣化調査結果

表 3-2-7 産業系施設の評価と傾向分類

No	施設名称	建物名称	一次評価			二次評価							傾向分類
			健全性	経過年数割合(%)	一次評価	利用率	1人当たりネットコスト	人口密度	ハザードマップ	公的必要性	合計点	二次評価	
勤労会館													
D01	石川町勤労青少年ホーム	勤労青少年ホーム	長寿命化	46.25	維持	2	3	2	5	3	15	劣	総量検討
D02	中谷自治センター（農村婦人の家）	中谷自治センター（農村婦人の家）	長寿命化	65.00	維持	5	3	4	4	3	19	良	長寿命化

表 3-3-7 産業系施設の劣化調査結果一覧

No	施設名称	建物名称	外構	躯体	屋根	外部	内部	電気設備	機械設備	劣化度
勤労会館										
D01	石川町勤労青少年ホーム	勤労青少年ホーム	B	B	B	B	B	B	B	25.00
D02	中谷自治センター（農村婦人の家）	中谷自治センター（農村婦人の家）	C	C	C	C	C	C	C	41.30

(3) 今後の方向性

石川町勤労青少年ホーム、中谷自治センター（農村婦人の家）ともに建築から30年以上が経過しています。継続的な維持管理・修繕、耐震補強により長寿命化を推進するとともに、民間企業への指定管理制度や、管理委託などの導入を検討します。

表 3-4-7 産業系施設の整備手法

No	施設名称	建物名称	一次評価	二次評価	分類	劣化度	整備手法
勤労会館							
D01	石川町勤労青少年ホーム	勤労青少年ホーム	維持	劣	総量検討	25.00	長寿命化
D02	中谷自治センター（農村婦人の家）	中谷自治センター（農村婦人の家）	維持	良	長寿命化	41.30	長寿命化

8 学校

(1) 施設の概要

「石川町立沢田小学校」「石川町立石川小学校」「石川町立野木沢小学校」の3つの小学校と「石川町立石川中学校」の計4施設からなり、面積合計は約22,552㎡で全体の約38.5%を占めます。



(写真は石川町立石川小学校)

表 3-1-8 学校の基本情報

地区	No	施設名称	建物名称	建築年度	利用面積 (㎡)	構造	耐震 基準	児童数/ 生徒数 (人)	ネットコスト (フルコスト-収入) (円)
小学校									
沢田	E01	石川町立沢田小学校	校舎	昭和63年度	2426.00	鉄筋コンクリート	新	85	51,628,913
			屋内運動場	昭和61年度	684.00	鉄骨造	新		
			共同調理場	昭和63年度	143.00	鉄骨鉄筋コンクリート	新		
中谷	E02	石川町立石川小学校	校舎	平成27年度	6245.98	鉄筋コンクリート	新	507	116,647,187
			屋内運動場	平成28年度	1204.70	鉄筋コンクリート	新		
野木沢	E03	石川町立野木沢小学校	校舎	昭和54年度	1880.00	鉄骨鉄筋コンクリート	旧	117	47,413,755
			屋内運動場	平成7年度	1025.00	鉄骨造	新		
小分類計					13608.68			709	215,689,855
中学校									
中谷	E04	石川町立石川中学校	校舎 1	昭和49年度	1141.00	鉄骨鉄筋コンクリート	旧	360	95,828,472
			校舎 2	昭和50年度	2923.00	鉄骨鉄筋コンクリート	旧		
			校舎 3	昭和51年度	2524.00	鉄骨鉄筋コンクリート	旧		
			屋内運動場	昭和52年度	2038.00	鉄骨造	旧		
			給食室	平成31年度	316.90	鉄筋コンクリート	新		
小分類計					8942.90			360	95,828,472
中分類計					22551.58			1,069	311,518,327

(2) 評価と劣化調査結果

表 3-2-8 学校の評価と傾向分類

No	施設名称	建物名称	一次評価			二次評価							傾向分類
			健全性	経過年数割合(%)	一次評価	利用率	1人当たりネットコスト	人口密度	ハザードマップ	公的必要性	合計点	二次評価	
小学校													
E01	石川町立沢田小学校	屋内運動場	長寿命化	41.25	維持	3	1	4	5	5	18	良	長寿命化
		校舎	長寿命化	38.75	維持								長寿命化
		共同調理場	長寿命化	38.75	維持								長寿命化
E02	石川町立石川小学校	校舎	長寿命化	5.00	維持	5	5	5	3	5	23	良	長寿命化
		屋内運動場	長寿命化	3.75	維持								長寿命化
E03	石川町立野木沢小学校	屋内運動場	長寿命化	30.00	維持	3	1	3	5	5	17	良	長寿命化
		校舎	長寿命化	50.00	維持								長寿命化
中学校													
E04	石川町立石川中学校	屋内運動場	耐震補強	52.50	耐震補強	5	3	5	3	5	21	良	耐震補強
		校舎 1	長寿命化	56.25	維持								長寿命化
		校舎 2	長寿命化	55.00	維持								長寿命化
		校舎 3	長寿命化	53.75	維持								長寿命化
		給食室	長寿命化	1.25	維持								長寿命化

表 3-3-8 学校の劣化調査結果一覧

No	施設名称	建物名称	外構	躯体	屋根	外部	内部	電気設備	機械設備	劣化度
小学校										
E01	石川町立沢田小学校	校舎	B	B	D	C	B	B	B	33.71
		屋内運動場	B	B	D	C	B	B	B	29.55
		共同調理場	B	B	D	C	B	B	B	33.97
E02	石川町立石川小学校	校舎	B	A	A	A	A	A	A	9.30
		屋内運動場	A	A	A	A	A	A	A	6.00
E03	石川町立野木沢小学校	校舎	C	C	D	C	C	C	C	42.07
		屋内運動場	C	B	B	C	B	B	B	27.79
中学校										
E04	石川町立石川中学校	校舎 1	C	C	C	D	C	C	C	43.42
		校舎 2	C	C	C	D	C	C	C	43.42
		校舎 3	C	C	C	D	C	C	C	43.42
		屋内運動場	C	C	C	C	C	C	C	43.46
		給食室	A	A	A	A	A	A	A	5.93

(3) 今後の方向性

平成27年度に小・中学校の統廃合を行い、現在は中谷地区に石川小学校と石川中学校が、沢田地区に沢田小学校が、野木沢地区に野木沢小学校が所在しています。

この4施設26棟のうち、築後40年以上経過している建物は14棟、築後20年以上40年未満の建物は6棟（本計画対象外棟を含む）あります。

小学校は単式学級の編制が可能な間は存続することとし、複式学級となった場合は統合後の学校に統合する方針が示されており、沢田小学校は令和4年度から石川小学校に統合することが決まっています。

野木沢小学校は、平成29年度に耐震補強工事が完了していることから、今後は児童数の推移を見極めながら設備の更新や老朽化対策を検討していく必要があります。

※沢田小学校の各建物は、石川小学校への統合後、用途転用を検討します。用途が定まるまでの間事後保全とし、必要に応じた修繕を実施します。

表 3-4-8 学校の整備手法

No	施設名称	建物名称	一次評価	二次評価	分類	劣化度	整備手法
小学校							
E01	石川町立沢田小学校	屋内運動場	維持	良	長寿命化	29.55	長寿命化
		校舎	維持	良	長寿命化	33.71	長寿命化
		共同調理場	維持	良	長寿命化	33.97	長寿命化
E02	石川町立石川小学校	校舎	維持	良	長寿命化	9.30	長寿命化
		屋内運動場	維持	良	長寿命化	6.00	長寿命化
E03	石川町立野木沢小学校	屋内運動場	維持	良	長寿命化	27.79	長寿命化
		校舎	維持	良	長寿命化	42.07	長寿命化
中学校							
E04	石川町立石川中学校	屋内運動場	耐震補強	良	耐震補強	43.46	長寿命化
		校舎1	維持	良	長寿命化	43.42	長寿命化
		校舎2	維持	良	長寿命化	43.42	長寿命化
		校舎3	維持	良	長寿命化	43.42	長寿命化
		給食室	維持	良	長寿命化	5.93	長寿命化

9 幼保・こども園

(1) 施設の概要

公立保育所として、石川地区に「第一保育所」と「第二保育所」、野木沢地区に「野木沢保育所」があります。また、児童館としては「沢田児童館」および「文教福祉複合施設（モトガッコ）_児童クラブ」があり、これら5施設の利用面積合計は約3,220㎡で全体の約5.5%となります。



(写真は沢田児童館)

表 3-1-9 幼保・こども園の基本情報

地区	No	施設名称	建物名称	建築年度	利用面積 (㎡)	構造	耐震 基準	園児数 (人)	ネットコスト (フルコスト-収入) (円)
保育所等									
石川	F01	文教福祉複合施設（モトガッコ）_児童クラブ	建物（西棟）_児童クラブ	昭和44年度	944.01	鉄骨鉄筋コンクリート	旧	-	6,582,492
	F02	第一保育所	第一保育所	昭和55年度	717.25	鉄骨造	旧	98	28,476,063
	F03	第二保育所	第二保育所	平成3年度	618.50	木造	新	100	29,831,841
沢田	F04	沢田児童館	沢田児童館	平成3年度	535.50	鉄骨鉄筋コンクリート	新	19	7,656,995
野木沢	F05	野木沢保育所	野木沢保育所	昭和51年度	404.64	木造	旧	28	10,566,421
小分類計					3219.90			245	83,113,812
中分類計					3219.90			245	83,113,812

(2) 評価と劣化調査結果

表 3-2-9 幼保・こども園の評価と整備手法

No	施設名称	建物名称	一次評価			二次評価							傾向分類
			健全性	経過年数割合(%)	一次評価	利用率	1人当たりネットコスト	人口密度	ハザードマップ	公的必要性	合計点	二次評価	
保育所等													
F01	文教福祉複合施設(モトガッコ) 児童クラブ	建物(西棟) 児童クラブ	耐震補強	62.50	耐震補強	3	3	5	3	5	19	良	耐震補強
F02	第一保育所	第一保育所	耐震補強	48.75	耐震補強	5	4	5	5	5	24	良	耐震補強
F03	第二保育所	第二保育所	長寿命化	46.67	維持	5	4	5	3	5	22	良	長寿命化
F04	沢田児童館	沢田児童館	長寿命化	35.00	維持	1	2	4	5	5	17	良	長寿命化
F05	野木沢保育所	野木沢保育所	耐震補強	71.67	耐震補強	4	2	3	5	5	19	良	耐震補強

表 3-3-9 幼保・こども園の劣化調査結果一覧

No	施設名称	建物名称	外構	躯体	屋根	外部	内部	電気設備	機械設備	劣化度
保育所等										
F01	文教福祉複合施設(モトガッコ) 児童クラブ	建物(西棟) 児童クラブ	A	A	A	A	A	A	A	5.98
F02	第一保育所	第一保育所	C	C	C	C	C	C	C	40.21
F03	第二保育所	第二保育所	B	A	B	B	B	B	B	10.00
F04	沢田児童館	沢田児童館	A	B	C	B	B	B	B	23.43
F05	野木沢保育所	野木沢保育所	B	C	C	C	C	A	A	23.91

(3) 今後の方向性

石川町保育施設再編整備計画(改訂版)を基に町で保育施設を1つに集約した町立認定こども園を新設します。再編整備の考え方は、施設の老朽化や今後も続く少子化の進行、共働き世帯や女性の就業率の増加による保育ニーズへの対応を図っていくものです。

また、野木沢保育所と沢田児童館については、利用児童数の減少が著しいことから、新たに整備する町立認定こども園の開園を待たず閉所(館)を検討します。

表 3-4-9 幼保・こども園の整備手法

No	施設名称	建物名称	一次評価	二次評価	分類	劣化度	整備手法
保育所等							
F01	文教福祉複合施設(モトガッコ) 児童クラブ	建物(西棟) 児童クラブ	耐震補強	良	耐震補強	5.98	長寿命化
F02	第一保育所	第一保育所	耐震補強	良	耐震補強	40.21	廃止
F03	第二保育所	第二保育所	維持	良	長寿命化	10.00	廃止
F04	沢田児童館	沢田児童館	維持	良	長寿命化	23.43	用途転用
F05	野木沢保育所	野木沢保育所	耐震補強	良	耐震補強	23.91	廃止

10 高齢福祉施設

(1) 施設の概要

「石川町老人福祉センター」と「石川町立養護老人ホーム長生園」の利用面積の合計は約 2837 m²で全体の約 4.8%です。教養の向上やレクリエーション等老人福祉の振興、心身の健康の保持及び生活の安定のため設置された施設です。



(写真はデイサービスセンター長生園)

表 3-1-10 高齢福祉施設の基本情報

地区	No	施設名称	建物名称	建築年度	利用面積 (m ²)	構造	耐震基準	利用者数 (人)	ネットコスト (フルコスト-収入) (円)
高齢者施設									
石川	G01	石川町立養護老人ホーム長生園	園舎	昭和60年度	2069.63	鉄骨鉄筋コンクリート	新	-	80,024,036
			石川町老人デイサービスセンター長生園	平成11年度	342.00	鉄骨鉄筋コンクリート	新		
	G02	石川町老人福祉センター	石川町老人福祉センター	昭和50年度	425.66	鉄骨造	旧	2,987	1,285,778
小分類計					2837.29			2,987	81,309,814
中分類計					2837.29			2,987	81,309,814

(2) 評価と劣化調査結果

表 3-2-10 高齢福祉施設の評価と整備手法

No	施設名称	建物名称	一次評価			二次評価							傾向分類
			健全性	経過年数割合(%)	一次評価	利用率	1人当たりネットコスト	人口密度	ハザードマップ	公的必要性	合計点	二次評価	
高齢者施設													
G01	石川町立養護老人ホーム長生園	園舎	長寿命化	42.50	維持	3	3	4	5	5	20	良	長寿命化
		石川町老人デイサービスセンター長生園	長寿命化	25.00	維持								長寿命化
G02	石川町老人福祉センター	石川町老人福祉センター	耐震補強	55.00	耐震補強	5	5	5	3	5	23	良	耐震補強

表 3-3-10 高齢福祉施設の劣化調査結果一覧

No	施設名称	建物名称	外構	躯体	屋根	外部	内部	電気設備	機械設備	劣化度
高齢者施設										
G01	石川町立養護老人ホーム長生園	園舎	B	B	B	B	B	B	B	24.85
		石川町老人デイサービスセンター長生園	B	B	B	B	B	B	B	23.62
G02	石川町老人福祉センター	石川町老人福祉センター	-	-	-	-	-	-	-	-

(3) 今後の方向性

石川町老人福祉センターは令和元年東日本台風により被災し、令和3年度中の解体を検討しています。石川町立養護老人ホーム長生園については、施設廃止後の利用方針について検討しています。

表 3-4-10 高齢福祉施設の整備手法

No	施設名称	建物名称	一次評価	二次評価	分類	劣化度	整備手法
高齢者施設							
G01	石川町立養護老人ホーム長生園	園舎	維持	良	長寿命化	24.85	廃止
		石川町老人デイサービスセンター長生園	維持	良	長寿命化	23.62	廃止
G02	石川町老人福祉センター	石川町老人福祉センター	耐震補強	良	耐震補強	-	廃止

1 1 保健施設

(1) 施設の概要

「石川町保健センター」では、各種乳幼児健診等を実施しています。また、育児等に関する相談支援も行っています。利用面積は約 793 m²です。



(写真は石川町保健センター)

表 3-1-11 保健施設の基本情報

地区	No	施設名称	建物名称	建築年度	利用面積 (m ²)	構造	耐震 基準	利用者数 (人)	ネットコスト (フルコスト-収入) (円)
保健センター									
石川	G03	石川町保健センター	石川町保健センター	平成10年度	792.68	鉄骨鉄筋コンクリート	新	-	103,146,928
小分類計					792.68			-	103,146,928
中分類計					792.68			-	103,146,928

(2) 評価と劣化調査結果

表 3-2-11 保健施設の評価と整備手法

No	施設名称	建物名称	一次評価			二次評価							傾向分類
			健全性	経過年数割合(%)	一次評価	利用率	1人当たりネットコスト	人口密度	ハザードマップ	公的必要性	合計点	二次評価	
保健センター													
G03	石川町保健センター	石川町保健センター	長寿命化	26.25	維持	3	3	2	5	5	18	良	長寿命化

表 3-3-11 保健施設の劣化調査結果一覧

No	施設名称	建物名称	外構	躯体	屋根	外部	内部	電気設備	機械設備	劣化度
保健センター										
G03	石川町保健センター	石川町保健センター	B	B	B	B	B	B	B	30.16

(3) 今後の方向性

石川町保健センターは、福島県石川保健所の閉鎖に伴い平成 10 年度に町が取得した施設です。継続的な維持管理・修繕により、長寿命化を推進します。

表 3-4-11 保健施設の整備手法

No	施設名称	建物名称	一次評価	二次評価	分類	劣化度	整備手法
保健センター							
G03	石川町保健センター	石川町保健センター	維持	良	長寿命化	30.16	長寿命化

12 庁舎等

(1) 施設の概要

「石川町役場」は、本町の行政および防災機能を担う拠点施設です。利用面積は約 3,185 m²で全体の約 5.4%を占めます。



(写真は石川町役場庁舎)

表 3-1-12 庁舎等の基本情報

地区	No	施設名称	建物名称	建築年度	利用面積 (m ²)	構造	耐震 基準	利用者数 (人)	ネットコスト (フルコスト-収入) (円)
庁舎									
石川	H01	石川町役場	庁舎	平成28年度	3184.70	鉄筋コンクリート	新	-	83,465,971
小分類計					3184.70			-	83,465,971
中分類計					3184.70			-	83,465,971

(2) 評価と劣化調査結果

表 3-2-12 庁舎等の評価と整備手法

No	施設名称	建物名称	一次評価			二次評価							傾向分類
			健全性	経過年数割合(%)	一次評価	利用率	1人当たりネットコスト	人口密度	ハザードマップ	公的必要性	合計点	二次評価	
庁舎													
H01	石川町役場	庁舎	長寿命化	3.75	維持	3	3	5	5	5	21	良	長寿命化

表 3-3-12 庁舎等の劣化調査結果一覧

No	施設名称	建物名称	外構	躯体	屋根	外部	内部	電気設備	機械設備	劣化度
庁舎										
H01	石川町役場	庁舎	A	A	A	A	A	A	A	6.32

(3) 今後の方向性

石川町役場は、旧庁舎の老朽化が進行していたことから、平成 28 年 9 月、長久保へ新庁舎を建設、移転しました。

新設されて経過年数の少ない施設であるため、大きな不具合は見受けられませんが、継続的な維持管理・修繕により、長寿命化を推進します。

表 3-4-12 庁舎等の整備手法

No	施設名称	建物名称	一次評価	二次評価	分類	劣化度	整備手法
庁舎							
H01	石川町役場	庁舎	維持	良	長寿命化	6.32	長寿命化

13 消防施設

(1) 施設の概要

消防施設の利用面積合計は約 1,399 m²で全体の約 2.4%を占めます。石川地区に 10 施設、中谷地区に 5 施設、山橋地区に 4 施設、沢田地区に 4 施設、母畑地区に 3 施設、野木沢地区に 3 施設、あわせて 29 施設の消防屯所が、町民の安全を守る防災拠点として設置されています。



(写真は石川分団第4部屯所)

表 3-1-13 消防施設の基本情報

地区	No	施設名称	建物名称	建築年度	利用面積 (m ²)	構造	耐震基準	利用者数 (人)	ネットコスト (フルコスト-収入) (円)
消防屯所									
石川	H02	石川分団第1部屯所	石川分団第1部屯所	平成24年度	60.82	木造	新	-	527,710
	H03	石川分団第2部屯所	石川分団第2部屯所	昭和53年度	59.32	木造	旧	-	59,721
	H04	石川分団第3部屯所	石川分団第3部屯所	平成19年度	57.28	木造	新	-	297,127
	H05	石川分団第4部屯所	石川分団第4部屯所	平成29年度	53.82	木造	新	-	1,272,328
	H06	石川分団第5部屯所	石川分団第5部屯所	平成7年度	48.10	木造	新	-	74,208
	H07	石川分団第6部屯所	石川分団第6部屯所	平成22年度	60.82	木造	新	-	533,215
	H08	石川分団第7部屯所	石川分団第7部屯所	平成24年度	48.10	木造	新	-	340,681
	H09	石川分団第8部屯所	石川分団第8部屯所	平成10年度	48.10	木造	新	-	357,132
	H10	石川分団第9部屯所	石川分団第9部屯所	昭和54年度	39.66	木造	旧	-	54,457
	H11	石川分団第10部屯所	石川分団第10部屯所	平成12年度	57.96	木造	新	-	324,985
沢田	H12	沢田分団第1部屯所	沢田分団第1部屯所	昭和56年度	39.74	木造	新	-	61,492
	H13	沢田分団第2部屯所	沢田分団第2部屯所	昭和55年度	39.74	木造	旧	-	60,263
	H14	沢田分団第3部屯所	沢田分団第3部屯所	平成6年度	48.10	木造	新	-	59,900
	H15	沢田分団第4部屯所	沢田分団第4部屯所	平成4年度	48.10	木造	新	-	65,506

地区	No	施設名称	建物名称	建築年度	利用面積 (㎡)	構造	耐震基準	利用者数 (人)	ネットコスト (フルコスト-収入) (円)
山橋	H16	山橋分団第1部屯所	山橋分団第1部消防屯所	平成3年度	48.10	木造	新	-	53,588
	H17	山橋分団第2部屯所	山橋分団第2部屯所	昭和56年度	39.74	木造	新	-	13,164
	H18	山橋分団第3部屯所	山橋分団第3部屯所	平成5年度	48.10	木造	新	-	51,825
	H19	山橋分団第4部屯所	山橋分団第4部屯所	昭和54年度	39.66	木造	旧	-	25,150
中谷	H20	中谷分団第1部屯所	中谷分団第1部屯所	昭和53年度	48.85	木造	旧	-	64,479
	H21	中谷分団第2部屯所	中谷分団第2部屯所	昭和57年度	42.60	木造	新	-	57,662
	H22	中谷分団第3部屯所	中谷分団第3部屯所	昭和57年度	39.74	木造	新	-	63,680
	H23	中谷分団第4部屯所	中谷分団第4部屯所	昭和54年度	39.66	木造	旧	-	32,349
	H24	中谷分団第5部屯所	中谷分団第5部屯所	昭和54年度	39.66	木造	旧	-	16,614
母畑	H25	母畑分団第1部屯所	母畑分団第1部屯所	平成24年度	60.82	木造	新	-	533,899
	H26	母畑分団第2部屯所	母畑分団第2部屯所	昭和53年度	42.22	木造	旧	-	28,107
	H27	母畑分団第3部屯所	母畑分団第3部屯所	昭和55年度	39.74	木造	旧	-	27,422
野木沢	H28	野木沢分団第1部屯所	野木沢分団第1部屯所	平成24年度	60.82	木造	新	-	598,420
	H29	野木沢分団第2部屯所	野木沢分団第2部屯所	平成2年度	48.10	木造	新	-	64,193
	H30	野木沢分団第3部屯所	野木沢分団第3部屯所	平成26年度	51.97	木造	新	-	284,974
小分類計					1399.44			-	6,004,251
中分類計					1399.44			-	6,004,251

(2) 評価と劣化調査結果

表 3-2-13 消防施設の評価と整備手法

No	施設名称	建物名称	一次評価			二次評価							傾向分類
			健全性	経過年数割合(%)	一次評価	立地状況	1人当たりネットコスト	人口密度	ハザードマップ	公的必要性	合計点	二次評価	
消防屯所													
H02	石川分団第1部屯所	石川分団第1部屯所	長寿命化	11.67	維持	1	3	5	1	5	15	劣	総量検討
H03	石川分団第2部屯所	石川分団第2部屯所	耐震補強	68.33	耐震補強	1	3	5	3	5	17	良	耐震補強
H04	石川分団第3部屯所	石川分団第3部屯所	長寿命化	20.00	維持	1	3	5	1	5	15	劣	総量検討
H05	石川分団第4部屯所	石川分団第4部屯所	長寿命化	3.33	維持	1	3	5	1	5	15	劣	総量検討
H06	石川分団第5部屯所	石川分団第5部屯所	長寿命化	40.00	維持	1	3	5	1	5	15	劣	総量検討
H07	石川分団第6部屯所	石川分団第6部屯所	長寿命化	15.00	維持	1	3	5	3	5	17	良	長寿命化
H08	石川分団第7部屯所	石川分団第7部屯所	長寿命化	11.67	維持	3	3	1	3	5	15	劣	総量検討
H09	石川分団第8部屯所	石川分団第8部屯所	長寿命化	35.00	維持	3	3	3	4	5	18	良	長寿命化
H10	石川分団第9部屯所	石川分団第9部屯所	耐震補強	66.67	耐震補強	5	3	2	5	5	20	良	耐震補強
H11	石川分団第10部屯所	石川分団第10部屯所	長寿命化	31.67	維持	5	3	4	5	5	22	良	長寿命化

第3章 公共施設の状況と整備手法

No	施設名称	建物名称	一次評価			二次評価							傾向分類
			健全性	経過年数割合(%)	一次評価	立地状況	1人当たりネットコスト	人口密度	ハザードマップ	公的必要性	合計点	二次評価	
H12	沢田分団第1部屯所	沢田分団第1部屯所	長寿命化	63.33	維持	4	3	4	5	5	21	良	長寿命化
H13	沢田分団第2部屯所	沢田分団第2部屯所	耐震補強	65.00	耐震補強	5	3	4	4	5	21	良	耐震補強
H14	沢田分団第3部屯所	沢田分団第3部屯所	長寿命化	41.67	維持	5	3	3	5	5	21	良	長寿命化
H15	沢田分団第4部屯所	沢田分団第4部屯所	長寿命化	45.00	維持	4	3	4	5	5	21	良	長寿命化
H16	山橋分団第1部屯所	山橋分団第1部消防屯所	長寿命化	46.67	維持	5	3	3	5	5	21	良	長寿命化
H17	山橋分団第2部屯所	山橋分団第2部屯所	長寿命化	63.33	維持	5	3	2	5	5	20	良	長寿命化
H18	山橋分団第3部屯所	山橋分団第3部屯所	長寿命化	43.33	維持	5	3	4	4	5	21	良	長寿命化
H19	山橋分団第4部屯所	山橋分団第4部屯所	耐震補強	66.67	耐震補強	5	3	2	5	5	20	良	耐震補強
H20	中谷分団第1部屯所	中谷分団第1部屯所	耐震補強	68.33	耐震補強	5	3	5	1	5	19	良	耐震補強
H21	中谷分団第2部屯所	中谷分団第2部屯所	長寿命化	61.67	維持	4	3	4	1	5	17	良	長寿命化
H22	中谷分団第3部屯所	中谷分団第3部屯所	長寿命化	61.67	維持	4	3	3	3	5	18	良	長寿命化
H23	中谷分団第4部屯所	中谷分団第4部屯所	耐震補強	66.67	耐震補強	5	3	4	1	5	18	良	耐震補強
H24	中谷分団第5部屯所	中谷分団第5部屯所	耐震補強	66.67	耐震補強	5	3	2	5	5	20	良	耐震補強
H25	母畑分団第1部屯所	母畑分団第1部屯所	長寿命化	11.67	維持	4	3	4	4	5	20	良	長寿命化
H26	母畑分団第2部屯所	母畑分団第2部屯所	耐震補強	68.33	耐震補強	4	3	2	3	5	17	良	耐震補強
H27	母畑分団第3部屯所	母畑分団第3部屯所	耐震補強	65.00	耐震補強	4	3	2	5	5	19	良	耐震補強
H28	野木沢分団第1部屯所	野木沢分団第1部屯所	長寿命化	11.67	維持	4	3	5	5	5	22	良	長寿命化
H29	野木沢分団第2部屯所	野木沢分団第2部屯所	長寿命化	48.33	維持	5	3	4	5	5	22	良	長寿命化
H30	野木沢分団第3部屯所	野木沢分団第3部屯所	長寿命化	8.33	維持	4	3	2	5	5	19	良	長寿命化

序章

第1章

第2章

第3章

第4章

第5章

第6章

表 3-3-13 消防施設の劣化調査結果一覧

No	施設名称	建物名称	外構	躯体	屋根	外部	内部	電気設備	機械設備	劣化度
消防屯所										
H02	石川分団第1部屯所	石川分団第1部屯所	-	-	-	-	-	-	-	-
H03	石川分団第2部屯所	石川分団第2部屯所	-	-	-	-	-	-	-	-
H04	石川分団第3部屯所	石川分団第3部屯所	-	-	-	-	-	-	-	-
H05	石川分団第4部屯所	石川分団第4部屯所	-	-	-	-	-	-	-	-
H06	石川分団第5部屯所	石川分団第5部屯所	-	-	-	-	-	-	-	-
H07	石川分団第6部屯所	石川分団第6部屯所	-	-	-	-	-	-	-	-
H08	石川分団第7部屯所	石川分団第7部屯所	-	-	-	-	-	-	-	-
H09	石川分団第8部屯所	石川分団第8部屯所	-	-	-	-	-	-	-	-
H10	石川分団第9部屯所	石川分団第9部屯所	-	-	-	-	-	-	-	-
H11	石川分団第10部屯所	石川分団第10部屯所	-	-	-	-	-	-	-	-
H12	沢田分団第1部屯所	沢田分団第1部屯所	-	-	-	-	-	-	-	-
H13	沢田分団第2部屯所	沢田分団第2部屯所	-	-	-	-	-	-	-	-
H14	沢田分団第3部屯所	沢田分団第3部屯所	-	-	-	-	-	-	-	-
H15	沢田分団第4部屯所	沢田分団第4部屯所	-	-	-	-	-	-	-	-
H16	山橋分団第1部屯所	山橋分団第1部消防屯所	-	-	-	-	-	-	-	-
H17	山橋分団第2部屯所	山橋分団第2部屯所	-	-	-	-	-	-	-	-
H18	山橋分団第3部屯所	山橋分団第3部屯所	-	-	-	-	-	-	-	-
H19	山橋分団第4部屯所	山橋分団第4部屯所	-	-	-	-	-	-	-	-
H20	中谷分団第1部屯所	中谷分団第1部屯所	-	-	-	-	-	-	-	-
H21	中谷分団第2部屯所	中谷分団第2部屯所	-	-	-	-	-	-	-	-
H22	中谷分団第3部屯所	中谷分団第3部屯所	-	-	-	-	-	-	-	-
H23	中谷分団第4部屯所	中谷分団第4部屯所	-	-	-	-	-	-	-	-
H24	中谷分団第5部屯所	中谷分団第5部屯所	-	-	-	-	-	-	-	-
H25	母畑分団第1部屯所	母畑分団第1部屯所	-	-	-	-	-	-	-	-
H26	母畑分団第2部屯所	母畑分団第2部屯所	-	-	-	-	-	-	-	-
H27	母畑分団第3部屯所	母畑分団第3部屯所	-	-	-	-	-	-	-	-
H28	野木沢分団第1部屯所	野木沢分団第1部屯所	-	-	-	-	-	-	-	-
H29	野木沢分団第2部屯所	野木沢分団第2部屯所	-	-	-	-	-	-	-	-
H30	野木沢分団第3部屯所	野木沢分団第3部屯所	-	-	-	-	-	-	-	-

序章

第1章

第2章

第3章

第4章

第5章

第6章

(3) 今後の方向性

昭和56年以前に建築された消防施設に対する耐震補強を検討することとあわせて、消防団活動や防災活動など、地域防災力を衰退させないための消防施設の適切な配置について、行政区と町による話し合いを進め、地域防災力の強化を図ります。

表 3-4-13 消防施設の整備手法

No	施設名称	建物名称	一次評価	二次評価	分類	劣化度	整備手法
消防屯所							
H02	石川分団第1部屯所	石川分団第1部屯所	維持	劣	総量検討	-	長寿命化
H03	石川分団第2部屯所	石川分団第2部屯所	耐震補強	良	耐震補強	-	耐震補強
H04	石川分団第3部屯所	石川分団第3部屯所	維持	劣	総量検討	-	長寿命化
H05	石川分団第4部屯所	石川分団第4部屯所	維持	劣	総量検討	-	運営改善
H06	石川分団第5部屯所	石川分団第5部屯所	維持	劣	総量検討	-	長寿命化
H07	石川分団第6部屯所	石川分団第6部屯所	維持	良	長寿命化	-	長寿命化
H08	石川分団第7部屯所	石川分団第7部屯所	維持	劣	総量検討	-	長寿命化
H09	石川分団第8部屯所	石川分団第8部屯所	維持	良	長寿命化	-	長寿命化
H10	石川分団第9部屯所	石川分団第9部屯所	耐震補強	良	耐震補強	-	耐震補強
H11	石川分団第10部屯所	石川分団第10部屯所	維持	良	長寿命化	-	長寿命化
H12	沢田分団第1部屯所	沢田分団第1部屯所	維持	良	長寿命化	-	長寿命化
H13	沢田分団第2部屯所	沢田分団第2部屯所	耐震補強	良	耐震補強	-	耐震補強
H14	沢田分団第3部屯所	沢田分団第3部屯所	維持	良	長寿命化	-	長寿命化
H15	沢田分団第4部屯所	沢田分団第4部屯所	維持	良	長寿命化	-	長寿命化
H16	山橋分団第1部屯所	山橋分団第1部消防屯所	維持	良	長寿命化	-	長寿命化
H17	山橋分団第2部屯所	山橋分団第2部屯所	維持	良	長寿命化	-	長寿命化
H18	山橋分団第3部屯所	山橋分団第3部屯所	維持	良	長寿命化	-	長寿命化
H19	山橋分団第4部屯所	山橋分団第4部屯所	耐震補強	良	耐震補強	-	耐震補強

No	施設名称	建物名称	一次評価	二次評価	分類	劣化度	整備手法
H20	中谷分団第1部屯所	中谷分団第1部屯所	耐震補強	良	耐震補強	-	耐震補強
H21	中谷分団第2部屯所	中谷分団第2部屯所	維持	良	長寿命化	-	長寿命化
H22	中谷分団第3部屯所	中谷分団第3部屯所	維持	良	長寿命化	-	長寿命化
H23	中谷分団第4部屯所	中谷分団第4部屯所	耐震補強	良	耐震補強	-	耐震補強
H24	中谷分団第5部屯所	中谷分団第5部屯所	耐震補強	良	耐震補強	-	耐震補強
H25	母畑分団第1部屯所	母畑分団第1部屯所	維持	良	長寿命化	-	長寿命化
H26	母畑分団第2部屯所	母畑分団第2部屯所	耐震補強	良	耐震補強	-	耐震補強
H27	母畑分団第3部屯所	母畑分団第3部屯所	耐震補強	良	耐震補強	-	耐震補強
H28	野木沢分団第1部屯所	野木沢分団第1部屯所	維持	良	長寿命化	-	長寿命化
H29	野木沢分団第2部屯所	野木沢分団第2部屯所	維持	良	長寿命化	-	長寿命化
H30	野木沢分団第3部屯所	野木沢分団第3部屯所	維持	良	長寿命化	-	長寿命化

14 その他行政系施設

(1) 施設の概要

備蓄倉庫として「防除機械格納庫」、その他行政系施設として「保健センター分室」「石川合同庁舎」の3施設3棟、約1168㎡が設置されています。これは全体の約2.0%となります。



(写真は石川合同庁舎)

表 3-1-14 その他行政系施設の基本情報

地区	No	施設名称	建物名称	建築年度	利用面積 (㎡)	構造	耐震 基準	利用者数 (人)	ネットコスト (フルコスト-収入) (円)
備蓄倉庫									
石川	H31	防除機械格納庫	防除機械格納庫	平成7年度	59.62	木造	新	-	151,843
					小分類計	59.62		0	151,843
その他行政系施設									
石川	H32	保健センター分室	事務室増	平成7年度	470.87	鉄骨造	新	-	1,199,645
	H33	石川合同庁舎	石川合同庁舎	平成16年度	637.61	木造	新	-	2,977,531
					小分類計	1108.48		-	4,177,176
					中分類計	1168.10		-	4,329,019

(2) 評価と劣化調査結果

表 3-2-14 その他行政系施設の評価と整備手法

No	施設名称	建物名称	一次評価			二次評価							傾向分類
			健全性	経過年数割合(%)	一次評価	利用率	1人当たりネットコスト	人口密度	ハザードマップ	公的必要性	合計点	二次評価	
備蓄倉庫													
H31	防除機械格納庫	防除機械格納庫	長寿命化	40.00	維持	3	3	5	4	5	20	良	長寿命化
その他行政系施設													
H32	保健センター分室	事務室増	長寿命化	30.00	維持	3	3	5	1	5	17	良	長寿命化
H33	石川合同庁舎	石川合同庁舎	長寿命化	25.00	維持	3	3	5	3	5	19	良	長寿命化

表 3-3-14 その他行政系施設の劣化調査結果一覧

No	施設名称	建物名称	外構	躯体	屋根	外部	内部	電気設備	機械設備	劣化度
備蓄倉庫										
H31	防除機械格納庫	防除機械格納庫	-	-	-	-	-	-	-	-
その他行政系施設										
H32	保健センター分室	事務室増	B	B	C	B	B	B	B	30.26
H33	石川合同庁舎	石川合同庁舎	B	B	B	B	B	B	B	22.08

(3) 今後の方向性

石川町合同庁舎は、旧森林技術センターに改修工事を施し、平成28年度に旧福島県石川合同庁舎より機能を移転したものです。各施設とも地域防災機能を維持するため、計画的な維持管理と長寿命化に努めます。

表 3-4-14 その他行政系施設の整備手法

No	施設名称	建物名称	一次評価	二次評価	分類	劣化度	整備手法
備蓄倉庫							
H31	防除機械格納庫	防除機械格納庫	維持	良	長寿命化	-	長寿命化
その他行政系施設							
H32	保健センター分室	事務室増	維持	良	長寿命化	30.26	長寿命化
H33	石川合同庁舎	石川合同庁舎	維持	良	長寿命化	22.08	長寿命化

15 公営住宅

(1) 施設の概要

本計画対象の公営住宅は一般住宅及び職員住宅として管理している集合住宅 1 施設と戸建住宅 15 施設の計 16 施設からなり、その利用面積の合計は約 1,087 m²で全体の約 1.9%を占めます。本施設は町民の生活の安定と社会福祉の増進を目的として設置されました。



(写真は一般住宅 3)

表 3-1-15 公営住宅の基本情報

地区	No	施設名称	建物名称	建築年度	利用面積 (m ²)	構造	耐震基準	入居戸数 (戸)	ネットコスト (フルコスト-収入) (円)
集合住宅									
石川	I01	一般住宅 3	一ノ沢 7-10	平成元年度	244.08	鉄骨造	新	4	1,459,131
					小分類計	244.08		4	1,459,131
戸建住宅									
石川	I02	一般住宅 1	高田 3	昭和62年度	44.62	木造	新	1	471,178
	I03	一般住宅 2	境ノ内 4	昭和61年度	49.58	木造	新	2	511,755
			境ノ内 5	昭和61年度	49.58	木造	新		
			境ノ内 6	昭和61年度	49.58	木造	新		
	I04	一般住宅 7	当町 20	昭和27年度	36.36	木造	旧	1	471,178
	I05	職員住宅 3	鹿ノ坂教員住宅 57	昭和29年度	49.68	木造	旧	1	522,850
	I06	職員住宅 4	古館教員住宅 60	昭和29年度	51.23	木造	旧	1	471,178
	I07	職員住宅 7	屋敷ノ入教員住宅 56	昭和29年度	49.68	木造	旧	1	523,393
I08	職員住宅 8	旧県教員住宅 31	昭和29年度	51.23	木造	旧	0	471,178	
沢田	I09	職員住宅 5	沢小学校長住宅 58	昭和48年度	49.68	木造	旧	0	483,978
	I10	職員住宅 11	旧沢田中学校長住宅 28	昭和33年度	56.19	木造	旧	1	471,178
中谷	I11	職員住宅 1	旧中谷第二小教員住宅 37	昭和40年度	51.23	木造	旧	0	471,178
	I12	職員住宅 2	中二小学校長住宅 37	平成4年度	49.68	木造	新	1	473,944

地区	No	施設名称	建物名称	建築年度	利用面積 (㎡)	構造	耐震基準	入居戸数 (戸)	ネットコスト (フルコスト-収入) (円)
中谷	I13	職員住宅9	旧中谷第一小教員住宅4 1	昭和29年度	43.37	木造	旧	1	471,215
	I14	職員住宅12	職員住宅12	昭和42年度	43.37	木造	旧	1	541,726
野木沢	I15	一般住宅5	矢野1 1	昭和29年度	74.50	木造	旧	1	578,157
	I16	職員住宅1 0	旧野木沢中学校住宅5 5	昭和41年度	43.37	木造	旧	0	471,178
小分類計					842.93			12	7,405,264
中分類計					1087.01			16	8,864,395

(2) 評価と劣化調査結果

表 3-2-15 公営住宅の評価と整備手法

No	施設名称	建物名称	一次評価			二次評価							傾向分類
			健全性	経過年数割合(%)	一次評価	利用率	1人当たりネットコスト	人口密度	ハザードマップ	公的必要性	合計点	二次評価	
集合住宅													
I01	一般住宅3	一ノ沢7-1 0	長寿命化	37.50	維持	5	3	3	4	5	20	良	長寿命化
戸建住宅													
I02	一般住宅1	高田3	長寿命化	53.33	維持	5	3	5	1	5	19	良	長寿命化
I03	一般住宅2	境ノ内4	長寿命化	55.00	維持	4	3	5	3	5	20	良	長寿命化
		境ノ内5	長寿命化	55.00	維持								長寿命化
		境ノ内6	長寿命化	55.00	維持								長寿命化
I04	一般住宅7	当町2 0	耐震補強	111.67	改築/廃止	5	3	5	5	5	23	良	再整備
I05	職員住宅3	鹿ノ坂教員住宅5 7	耐震補強	108.33	改築/廃止	5	3	5	3	5	21	良	再整備
I06	職員住宅4	古舘教員住宅6 0	耐震補強	108.33	改築/廃止	5	3	5	4	5	22	良	再整備
I07	職員住宅7	屋敷ノ入教員住宅5 6	耐震補強	108.33	改築/廃止	5	3	5	1	5	19	良	再整備
I08	職員住宅8	旧泉教員住宅3 1	耐震補強	108.33	改築/廃止	3	3	5	1	5	17	良	再整備
I09	職員住宅5	沢小校長住宅5 8	耐震補強	76.67	改築/廃止	3	3	4	5	5	20	良	再整備
I10	職員住宅1 1	旧沢田中学校長住宅28	耐震補強	101.67	改築/廃止	5	3	4	5	5	22	良	再整備
I11	職員住宅1	旧中谷第二小教員住宅3 7	耐震補強	90.00	改築/廃止	3	3	2	5	5	18	良	再整備
I12	職員住宅2	中二小校長住宅3 7	長寿命化	45.00	維持	5	3	3	5	5	21	良	長寿命化
I13	職員住宅9	旧中谷第一小教員住宅4 1	耐震補強	108.33	改築/廃止	5	3	4	1	5	18	良	再整備
I14	職員住宅12	職員住宅12	耐震補強	86.67	改築/廃止	5	3	4	1	5	18	良	再整備
I15	一般住宅5	矢野1 1	耐震補強	108.33	改築/廃止	5	3	4	5	5	22	良	再整備
I16	職員住宅1 0	旧野木沢中学校住宅5 5	耐震補強	88.33	改築/廃止	3	3	3	5	5	19	良	再整備

表 3-3-15 公営住宅の劣化調査結果一覧

No	施設名称	建物名称	外構	躯体	屋根	外部	内部	電気設備	機械設備	劣化度
集合住宅										
I01	一般住宅 3	一ノ沢 7-10	B	B	B	C	B	B	B	23.90
戸建住宅										
I02	一般住宅 1	高田 3	-	-	-	-	-	-	-	-
I03	一般住宅 2	境ノ内 4	-	-	-	-	-	-	-	-
		境ノ内 5	-	-	-	-	-	-	-	-
		境ノ内 6	-	-	-	-	-	-	-	-
I04	一般住宅 7	当町 20	-	-	-	-	-	-	-	
I05	職員住宅 3	鹿ノ坂教員住宅 57	-	-	-	-	-	-	-	
I06	職員住宅 4	古館教員住宅 60	-	-	-	-	-	-	-	
I07	職員住宅 7	屋敷ノ入教員住宅 56	-	-	-	-	-	-	-	
I08	職員住宅 8	旧県教員住宅 31	-	-	-	-	-	-	-	
I09	職員住宅 5	沢小学校長住宅 58	-	-	-	-	-	-	-	
I10	職員住宅 11	旧沢田中学校長住宅 28	-	-	-	-	-	-	-	
I11	職員住宅 1	旧中谷第二小教員住宅 37	-	-	-	-	-	-	-	
I12	職員住宅 2	中二小校長住宅 37	-	-	-	-	-	-	-	
I13	職員住宅 9	旧中谷第一小教員住宅 41	-	-	-	-	-	-	-	
I14	職員住宅 12	職員住宅 12	-	-	-	-	-	-	-	
I15	一般住宅 5	矢野 11	-	-	-	-	-	-	-	
I16	職員住宅 10	旧野木沢中学校住宅 55	-	-	-	-	-	-	-	

序章

第1章

第2章

第3章

第4章

第5章

第6章

(3) 今後の方向性

本計画対象の公営住宅 16 施設 18 棟のうち、11 棟が建築後 50 年を超え、12 棟が耐震補強を必要とする状況です。早急な対応が必要な一方、現在入居者がいない施設もあります。

本町全域における住宅供給のバランスに配慮しながら、計画的な建替えや用途廃止等の検討を進めます。

表 3-4-15 公営住宅の整備手法

No	施設名称	建物名称	一次評価	二次評価	分類	劣化度	整備手法
集合住宅							
I01	一般住宅 3	一ノ沢 7-10	維持	良	長寿命化	23.90	長寿命化
戸建住宅							
I02	一般住宅 1	高田 3	維持	良	長寿命化	-	長寿命化
I03	一般住宅 2	境ノ内 4	維持	良	長寿命化	-	長寿命化
		境ノ内 5	維持	良	長寿命化	-	長寿命化
		境ノ内 6	維持	良	長寿命化	-	長寿命化
I04	一般住宅 7	当町 20	改築/廃止	良	再整備	-	建替
I05	職員住宅 3	鹿ノ坂教員住宅 57	改築/廃止	良	再整備	-	建替
I06	職員住宅 4	古館教員住宅 60	改築/廃止	良	再整備	-	建替
I07	職員住宅 7	屋敷ノ入教員住宅 56	改築/廃止	良	再整備	-	建替
I08	職員住宅 8	旧県教員住宅 31	改築/廃止	良	再整備	-	建替
I09	職員住宅 5	沢小学校長住宅 58	改築/廃止	良	再整備	-	建替
I10	職員住宅 11	旧沢田中学校長住宅 28	改築/廃止	良	再整備	-	建替
I11	職員住宅 1	旧中谷第二小教員住宅 37	改築/廃止	良	再整備	-	建替
I12	職員住宅 2	中二小校長住宅 37	維持	良	長寿命化	-	長寿命化
I13	職員住宅 9	旧中谷第一小教員住宅 41	改築/廃止	良	再整備	-	建替
I14	職員住宅 12	職員住宅 12	改築/廃止	良	再整備	-	建替
I15	一般住宅 5	矢野 11	改築/廃止	良	再整備	-	建替
I16	職員住宅 10	旧野木沢中学校住宅 55	改築/廃止	良	再整備	-	建替

16 公園

(1) 施設の概要

「石川町総合運動公園（クリスタルパーク）」は、町民のスポーツ・レクリエーション施設の拠点として、各種イベントや町民の憩いの広場として設置された施設です。利用面積は約 6,299 m²となります。



(写真は石川町総合体育館)

表 3-1-16 公園の基本情報

地区	No	施設名称	建物名称	建築年度	利用面積 (m ²)	構造	耐震 基準	利用者数 (人)	ネットコスト (フルコスト-収入) (円)
公園									
石川	J01	石川町総合運動公園（クリスタルパーク）	石川町総合体育館	平成4年度	6298.81	鉄骨鉄筋コンクリート	新	38,456	59,149,795
小分類計					6298.81			38,456	59,149,795
中分類計					6298.81			38,456	59,149,795

(2) 評価と劣化調査結果

表 3-2-16 公園の評価と整備手法

No	施設名称	建物名称	一次評価			二次評価							傾向分類
			健全性	経過年数割合(%)	一次評価	利用率	1人当たりネットコスト	人口密度	ハザードマップ	公的必要性	合計点	二次評価	
公園													
J01	石川町総合運動公園（クリスタルパーク）	石川町総合体育館	長寿命化	33.75	維持	3	3	1	5	5	17	良	長寿命化

表 3-3-16 公園の劣化調査結果一覧

No	施設名称	建物名称	外構	躯体	屋根	外部	内部	電気設備	機械設備	劣化度
公園										
J01	石川町総合運動公園（クリスタルパーク）	石川町総合体育館	B	B	B	B	B	B	B	24.44

(3) 今後の方向性

石川町総合運動公園（クリスタルパーク）は石川町唯一の都市公園です。町民のスポーツ・レクリエーション施設の拠点として、各種イベントや町民の憩いの広場として開放しています。

利用状況やコスト面を考慮しながら、重点的に管理を継続します。

表 3-4-16 公園の整備手法

No	施設名称	建物名称	一次評価	二次評価	分類	劣化度	整備手法
公園							
J01	石川町総合運動公園（クリスタルパーク）	石川町総合体育館	維持	良	長寿命化	24.44	長寿命化

17 供給処理施設

(1) 施設の概要

「石川町小金塚団地共同污水处理施設」は、小金塚団地における生活污水、雑排水等を処理するために設置された施設です。施設面積の合計は約 155 m²で全体の 0.3%を占めます。



(写真は石川町小金塚団地 共同污水处理施設【土地開発事業特別会計】)

表 3-1-17 供給処理施設の基本情報

地区	施設番号	施設名称	建物名称	建築年度	利用面積 (m ²)	構造	耐震 基準	利用者数 (人)	ネットコスト (フルコスト-収入) (円)
供給処理施設									
野木沢	K01	石川町小金塚団地 共同污水处理施設【土地開発事業特別会計】	小金塚団地污水处理場	昭和57年度	155.32	鉄骨鉄筋コンクリート	新	-	-163,190
小分類計					155.32			-	-163,190
中分類計					155.32			-	-163,190

(2) 評価と劣化調査結果

表 3-2-17 供給処理施設の評価と整備手法

No	施設名称	建物名称	一次評価			二次評価							傾向分類
			健全性	経過年数 割合(%)	一次評価	利用率	1人当 りネット コスト	人口密度	ハザード マップ	公的 必要性	合計点	二次評価	
供給処理施設													
K01	石川町小金塚団地 共同汚水処理施設【土地開発事業特別会計】	小金塚団地汚水処理場	長寿命化	46.25	維持	3	3	5	5	5	21	良	長寿命化

表 3-3-17 供給処理施設の劣化調査結果一覧

No	施設名称	建物名称	外構	躯体	屋根	外部	内部	電気設備	機械設備	劣化度
供給処理施設										
K01	石川町小金塚団地 共同汚水処理施設【土地開発事業特別会計】	小金塚団地汚水処理場	B	B	-	B	B	B	B	19.17

(3) 今後の方向性

建築から30年以上が経過し老朽化が進行しています。計画的な維持管理と長寿命化に努めると共に、指定管理者制度などの民間活用の方策も検討します。

表 3-4-17 供給処理施設の整備手法

No	施設名称	建物名称	一次評価	二次評価	分類	劣化度	整備手法
供給処理施設							
K01	石川町小金塚団地 共同汚水処理施設【土地開発事業特別会計】	小金塚団地汚水処理場	維持	良	長寿命化	19.17	長寿命化

第4章 公共施設整備の基本的な方針と整備水準

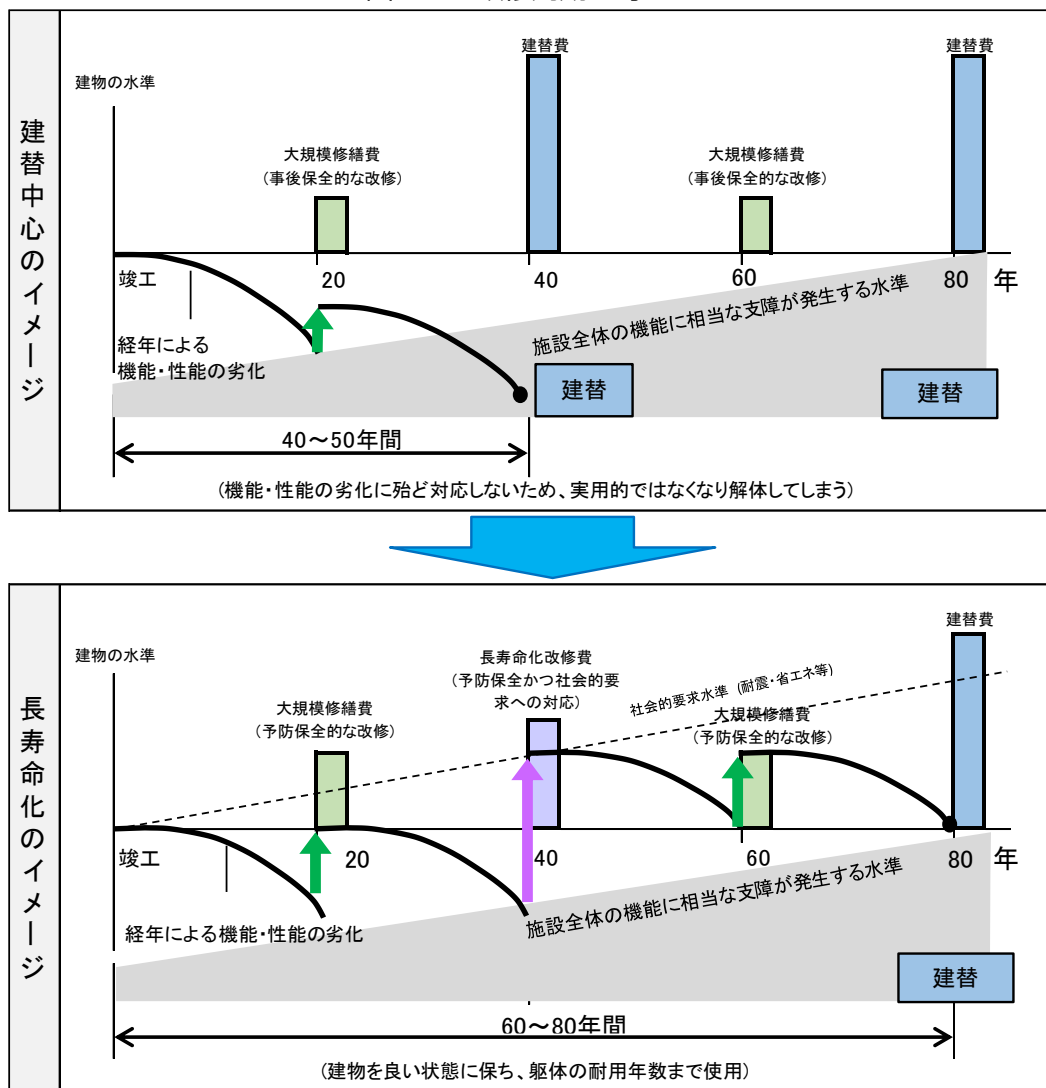
1 改修等の基本的な方針

財政状況や施設の利用状況を勘案しながら、計画的な改修による長寿命化を行っていきます。従来の新築、改築を中心とした施設整備（事後保全）から、計画的な修繕・改修による施設整備（予防保全）に切り替え、建物の長寿命化を図ることで財政負担の平準化を行っていきます。

2 改修周期の考え方

建物の長寿命化を図るために適切な周期での計画的修繕・改修が必要となります。下記のイメージのように定期的な修繕・改修を繰り返し、長寿命化を図ります。

図 4-1 改修周期の考え方



3 改修等の整備水準

(1) 耐久性の向上

① 躯体

工事実施段階において詳細調査を実施し、劣化状況に応じた適切な補修を実施します。

- ・ ひび割れ対策
ひび割れ補修工法（被覆工法、注入工法、充てん工法）等
- ・ 中性化対策
表面処理工法等、中性抑制剤やアルカリ性付与剤の塗布等
- ・ 鉄筋の腐食対策
断面修復工法（左官工法、吹付け工法）等

② 外壁・屋上

漏水による耐久性への影響が大きいため、防水性および耐久性の高い材料を使用します。

(2) 機能性の向上

多くの人が使用する公共施設であるため、バリアフリーやユニバーサルデザインを取り入れた機能的な内装や設備を選定します。また、用途やレイアウトの変更への対応も考慮します。

(3) 環境性の向上

断熱性の高い材料の使用や再生エネルギーを導入し、省エネルギー化を図ります。

表 4-1 改修時の整備水準例

部位	対応	具体例
躯体	躯体の状況に応じた補修（ひび割れ対策、中性化対策）	補修材の注入、表面処理工法、断面修復工法
屋根・屋上	防水性および耐久性の高い材料の導入	ガルバリウム鋼板屋根、屋上断熱アスファルト防水改修
外部	耐久性および断熱性の高い材料の導入	フッ素塗料等 複層ガラス、断熱材
内部	レイアウト変更可能な内装の導入	可動式間仕切り
電気設備	省エネ効果の高い電気設備の導入、再生可能エネルギーの導入	電灯のLED化 太陽光エネルギー発電等
機械設備	バリアフリー/ユニバーサルデザイン型の設備導入、省エネ効果の高い電気設備の導入	トイレの洋式化、EV設置、ICT対応

4 整備手法を踏まえた更新費用の状況

(1) 条件設定

試算にあたっての条件は以下の通りです。

- ① 建物の構造に応じた目標使用年数を基に建替や長寿命化改修、大規模修繕の周期を設定します。なお、木造は大規模修繕のみ実施すると想定します。
- ② 建替費用は工期を考慮し2か年に分割して計上します。
- ③ 「平成31年度 建築物のライフサイクルコスト（(財)建築保全センター）」におけるモデル建物を参考に設定した単価（表4-3参照）を使用します。
- ④ 「第3章（3）今後の方向性」で設定した整備手法と試算における条件は以下の通りです。

表4-2 整備手法と試算条件

整備手法	耐震性	試算における条件
長寿命化、集約化、複合化、用途転用、運営改善	○	目標使用年数到来年度まで使用すると想定します。
	×	直近の工事と一緒に耐震補強を実施し、目標使用年数到来年度まで使用すると想定します。
耐震補強	—	直近の工事と一緒に耐震補強を実施し、目標使用年数到来年度まで使用すると想定します。
建替	○	予定年度または目標使用年数到来後に建替を行うと想定します。
	×	予定年度または法定耐用年数到来後に建替を行うと想定します。
廃止	○	予定年度または目標使用年数到来後に取壊を行うと想定します。
	×	予定年度または法定耐用年数到来後に取壊を行うと想定します。
長寿命化を想定しない建物（小規模な建物等）	—	整備手法に関係なく試算期間40年の間に一度は更新すると想定します。P.6の単価を用い、「長寿命化を想定しない建物の延床面積合計 × 分類単価 ÷ 40年」を毎年度計上します。

表4-3 建替・修繕周期・単価表

部位	項目	周期	単価 (㎡/円)					
			小規模事務 庁舎	中規模事務 庁舎	大規模事務 庁舎	校舎	体育館	住宅
建替	建替	目標 使用年数	445,960	409,460	374,890	318,810	362,940	306,480
外構	長寿命化改修	40	270	1,210	200	330	0	2,870
	大規模修繕	20	270	120	170	330	0	630
屋根	長寿命化改修	40	2,950	1,700	620	4,740	8,950	2,930
	大規模修繕	20	1,190	790	300	780	1,360	410
外部	長寿命化改修	40	17,400	16,720	6,320	12,680	13,600	15,960
	大規模修繕	20	4,250	2,270	1,390	4,300	5,210	6,000
内部	長寿命化改修	40	32,860	33,440	32,290	33,660	24,930	34,330
	大規模修繕	20	3,310	3,400	2,980	4,750	3,790	6,870
電気設備	長寿命化改修	40	45,130	42,720	42,330	24,010	15,660	15,230
	大規模修繕	20	8,110	9,250	10,070	4,860	5,010	1,710
機械設備	長寿命化改修	40	60,570	55,630	66,600	31,500	13,600	46,100
	大規模修繕	20	14,380	19,950	17,350	10,330	3,370	6,920
外部足場	設置 撤去	—	3,060	2,220	1,310	2,070	3,810	2,530
取壊	取壊	—	41,400	33,800	33,800	32,300	44,800	40,400

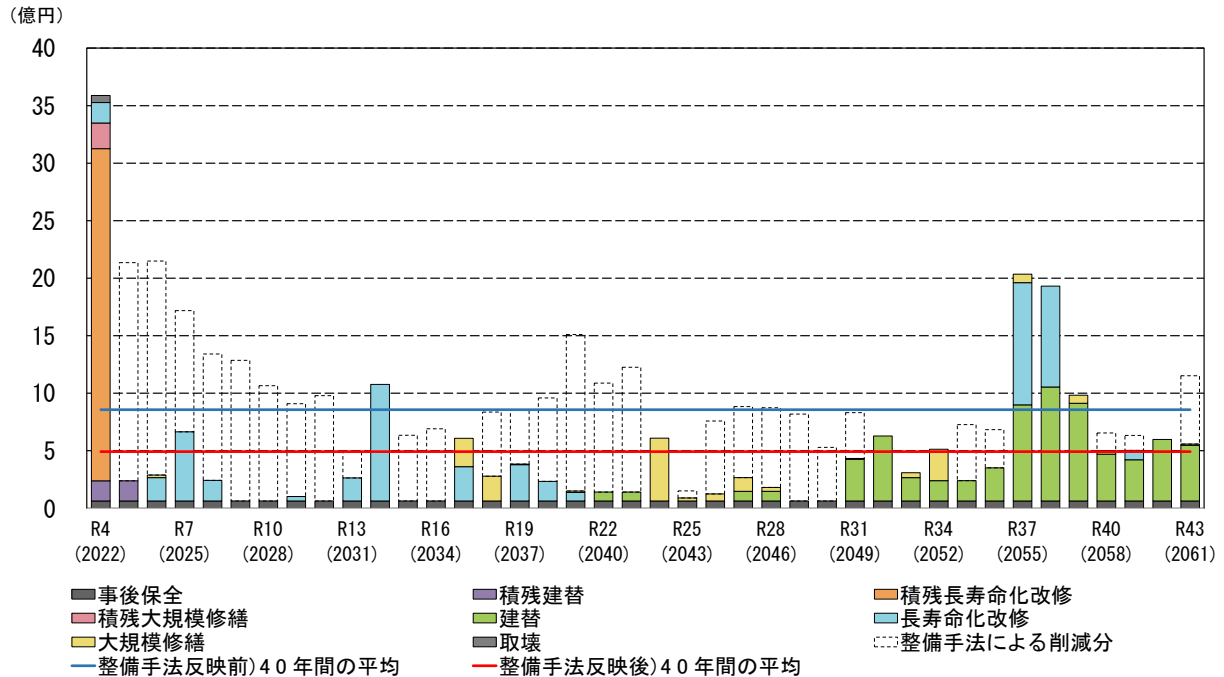
※掲載の都合上位を集約して記載していますが、実際の試算では第2章5(2)で示した細かい部位で実施しています。加えて共通費や消費税も含まれるため、上記の単価を延床面積に乗じても後述記載の金額と一致しません。また、耐震改修費用は「耐震改修工事費の目安」（一般財団法人日本建築防災協会）を参考に算出しています。

(2) 更新費用試算結果

整備手法を踏まえて更新費用を試算した結果、反映前の40年間の更新費用342.6億円に対して、反映後は197.1億円となり、40年間における投資額は145.5億円の縮減効果が期待されます。

図4-2 公共施設の更新費用試算比較（整備手法反映前⇔整備手法反映後）

更新対象ストック	5.9万㎡		
整備手法反映前)年更新費用試算額	8.5億円	整備手法反映前)試算期間の更新費用総額	342.6億円
整備手法反映後)年更新費用試算額	4.9億円	整備手法反映後)試算期間の更新費用総額	197.1億円
年あたり効果額	3.6億円	40年間の効果額	145.5億円



整備手法を踏まえると40年間で145.5億円縮減見込み

※石川町老人福祉センターはR3年度に解体予定の為除外しています。

※あくまで推計値であり、実際にかかる経費とは異なります。

次章では、劣化状況等から建物の優先順位付けを行ったうえで、上記の試算結果について実行予算に合わせた平準化を行い、計画期間である10年間(令和4(2022)~令和12(2031)年度)における改修等実施スケジュールを検討します。

第5章 実施計画

1 優先順位の考え方

第4章での試算額を基に、調査によって判明した建物の劣化度や既に決定している工事等の状況、既存施策・計画との兼ね合い、財政状況等を考慮し優先順位を設定しました。

2 実施計画

本スケジュールでは令和4年度以降の実施予定を示しておりますが、利用者の安全の確保等の観点から緊急の対応が必要となった場合には、優先的に実施します。なお、直近で定まっている工事は予定額を記載しているため「第4章(2)更新費用試算結果」とは異なる場合があります。

各施設の改修実施スケジュールは以下のとおりです。

表 5-1 改修実施スケジュール

(単位：百万円)

No	施設名称	棟名称	延床面積 (㎡)	構造	履歴/予定 西暦 和暦	実施計画									
						2022 R04	2023 R05	2024 R06	2025 R07	2026 R08	2027 R09	2028 R10	2029 R11	2030 R12	2031 R13
A02	文教福祉複合施設 (モトガッコ) _ 公民館	建物〔西棟〕_ 公民館	81.18	SRC	経過年数	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62
					対応時期										
		工事種別						積残長寿命化改修							
		金額						22							
A02	文教福祉複合施設 (モトガッコ) _ 公民館	建物〔東棟〕_ 公民館	825.89	SRC	経過年数	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61
					対応時期										
		工事種別						積残長寿命化改修							
		金額						216							
A03	石川自治センター	事務室棟	342.97	W	経過年数	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46
					対応時期										
					工事種別							積残大規模修繕			
					金額							12			
A04	沢田自治センター	事務室棟兼体育館	1,153.00	S	経過年数	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39
					対応時期										
		工事種別													
		金額													
A04	沢田自治センター	自治センター会議室	535.5	SRC	経過年数	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40
					対応時期										
		工事種別													
		金額													
A05	山橋自治センター	事務所 1	803.49	SRC	経過年数	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50
					対応時期										
					工事種別							積残長寿命化改修		大規模修繕	
					金額							163		31	
A06	中谷自治センター	事務所	716.5	SRC	経過年数	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51
					対応時期										
					工事種別						積残長寿命化改修				
					金額						142				
A07	母畑自治センター	母畑自治センター	364.61	W	経過年数	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57
					対応時期										
					工事種別			積残建替	積残建替						
					金額			89	89						
A08	野木沢自治センター	事務所	349	W	経過年数	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58
					対応時期										
					工事種別						積残建替	積残建替			
					金額						86	86			
A09	石川町川井地区集会場	石川町川井地区集会場	144.39	W	経過年数	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36
					対応時期										
					工事種別								積残大規模修繕		
					金額								5		
A10	石川町共同福祉施設	石川町共同福祉施設	708.72	SRC	経過年数	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46
					対応時期										
					工事種別										長寿命化改修
					金額										155

No	施設名称	棟名称	延床面積 (㎡)	構造	履歴/予定	実施計画										
						西暦	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031
						和暦	R04	R05	R06	R07	R08	R09	R10	R11	R12	R13
A11	鈴木重謙屋敷	鈴木家主屋	152.23	W	経過年数											
					対応時期	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	
					工事種別											
					金額											
B01	文教福祉複合施設 (モトガッコ) _ 石川町立図書館	建物〔西棟〕_図 書館	719.06	SRC	経過年数	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	
					対応時期											
					工事種別											
					金額											
B02	石川町立歴史民俗 資料館	歴史民俗資料館	358	SRC	経過年数	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	
					対応時期											
		工事種別														
		金額														
B02	石川町立歴史民俗 資料館	歴史民俗資料館 (3階増築)	117.73	SRC	経過年数	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	
					対応時期											
		工事種別														
		金額														
C01	石川町体育館	屋内運動場	885	S	経過年数	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	
					対応時期											
					工事種別											
					金額											
C02	石川町屋内ゲート ボール場	石川町屋内ゲート ボール場	824	S	経過年数	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	
					対応時期											
					工事種別											
					金額											
C03	石川町武道館	武道館	933	SRC	経過年数	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	
					対応時期											
					工事種別											
					金額											
C04	石川町温水プール	石川町温水プール	1,360.02	SRC	経過年数	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	
					対応時期											
					工事種別											
					金額											
C05	母畑レークサイド センター (その他 施設)	海洋センター体育 館	1,102.27	SRC	経過年数	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	
					対応時期											
	管理事務所	552.16	S	経過年数	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50		
				対応時期												
D01	石川町勤労青少年 ホーム	勤労青少年ホーム	801.87	SRC	経過年数	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	
					対応時期											
					工事種別											
					金額											
D02	中谷自治センター (農村婦人の家)	中谷自治センター (農村婦人の家)	317.7	W	経過年数	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	
					対応時期											
					工事種別											
					金額											
E02	石川町立石川小学 校	校舎	6,245.98	RC	経過年数	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	
					対応時期											
	屋内運動場	1,204.70	RC	経過年数	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15		
				対応時期												
E03	石川町立野木沢小 学校	屋内運動場	1,025.00	S	経過年数	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	
					対応時期											
	校舎	1,880.00	SRC	経過年数	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52		
				対応時期												

序章

第1章

第2章

第3章

第4章

第5章

第6章

第5章 実施計画

序章

第1章

第2章

第3章

第4章

第5章

第6章

No	施設名称	棟名称	延床面積 (m ²)	構造	履歴/予定	実施計画										
						西暦	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031
						和暦	R04	R05	R06	R07	R08	R09	R10	R11	R12	R13
E04	石川町立石川中学校	屋内運動場	2,038.00	S	経過年数	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	
					対応時期											
					工事種別	積残長寿命化改修										
		金額	261													
		校舎1	1,141.00	SRC	経過年数	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	
					対応時期											
工事種別	積残長寿命化改修															
金額	187															
校舎2	2,923.00	SRC	経過年数	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56			
			対応時期													
			工事種別	積残長寿命化改修												
金額	479															
校舎3	2,524.00	SRC	経過年数	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55			
			対応時期													
			工事種別	積残長寿命化改修												
金額	414															
給食室	316.9	RC	経過年数	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12			
			対応時期													
			工事種別													
金額																
F01	文教福祉複合施設 (モトガッコ) _ 児童クラブ	建物 (西棟) _ 児童クラブ	944.01	SRC	経過年数	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	
					対応時期											
					工事種別	積残長寿命化改修										
金額	183															
F02	第一保育所	第一保育所	717.25	S	経過年数	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	
					対応時期											
					工事種別											
金額																
F03	第二保育所	第二保育所	618.5	W	経過年数	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	
					対応時期											
					工事種別											
金額																
F04	沢田児童館	沢田児童館	535.5	SRC	経過年数	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	
					対応時期											
					工事種別											
金額																
F05	野木沢保育所	野木沢保育所	404.64	W	経過年数	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	
					対応時期											
					工事種別											
金額																
G01	石川町立養護老人ホーム長生園	園舎	2,069.63	SRC	経過年数	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	
					対応時期											
					工事種別											
		金額														
		石川町老人デイサービスセンター長生園	342	SRC	経過年数	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	
					対応時期											
工事種別																
金額																
G03	石川町保健センター	石川町保健センター	792.68	SRC	経過年数	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	
					対応時期											
					工事種別	積残大規模修繕										
金額	31															
H01	石川町役場	庁舎	3,184.70	RC	経過年数	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	
					対応時期											
					工事種別											
金額																
H32	保健センター分室	事務室増	470.87	S	経過年数	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	
					対応時期											
					工事種別	積残大規模修繕										
金額	14															
H33	石川合同庁舎	石川合同庁舎	637.61	W	経過年数	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	
					対応時期											
					工事種別	大規模修繕										
金額	23															
I01	一般住宅3	一ノ沢7-10	244.08	S	経過年数	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	
					対応時期											
					工事種別	長寿命化改修										
金額	39															
J01	石川町総合運動公園 (クリスタルパーク)	石川町総合体育館	6,298.81	SRC	経過年数	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	
					対応時期											
					工事種別											
金額																
K01	石川町小金塚団地共同汚水処理施設【土地開発事業特別会計】	小金塚団地汚水処理場	155.32	SRC	経過年数	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	
					対応時期											
					工事種別	長寿命化改修										
金額	21															
計						448	510	503	439	364	507	422	441	348	427	

※現在普通財産として管理している旧母畑小学校体育館は、令和4年度から行政財産（母畑自治センター体育館）としての活用を検討しております。

※石川町老人福祉センターはR3年度に解体予定の為除外しています。

※あくまで推計値であり、実際にかかる経費とは異なります。

序章

第1章

第2章

第3章

第4章

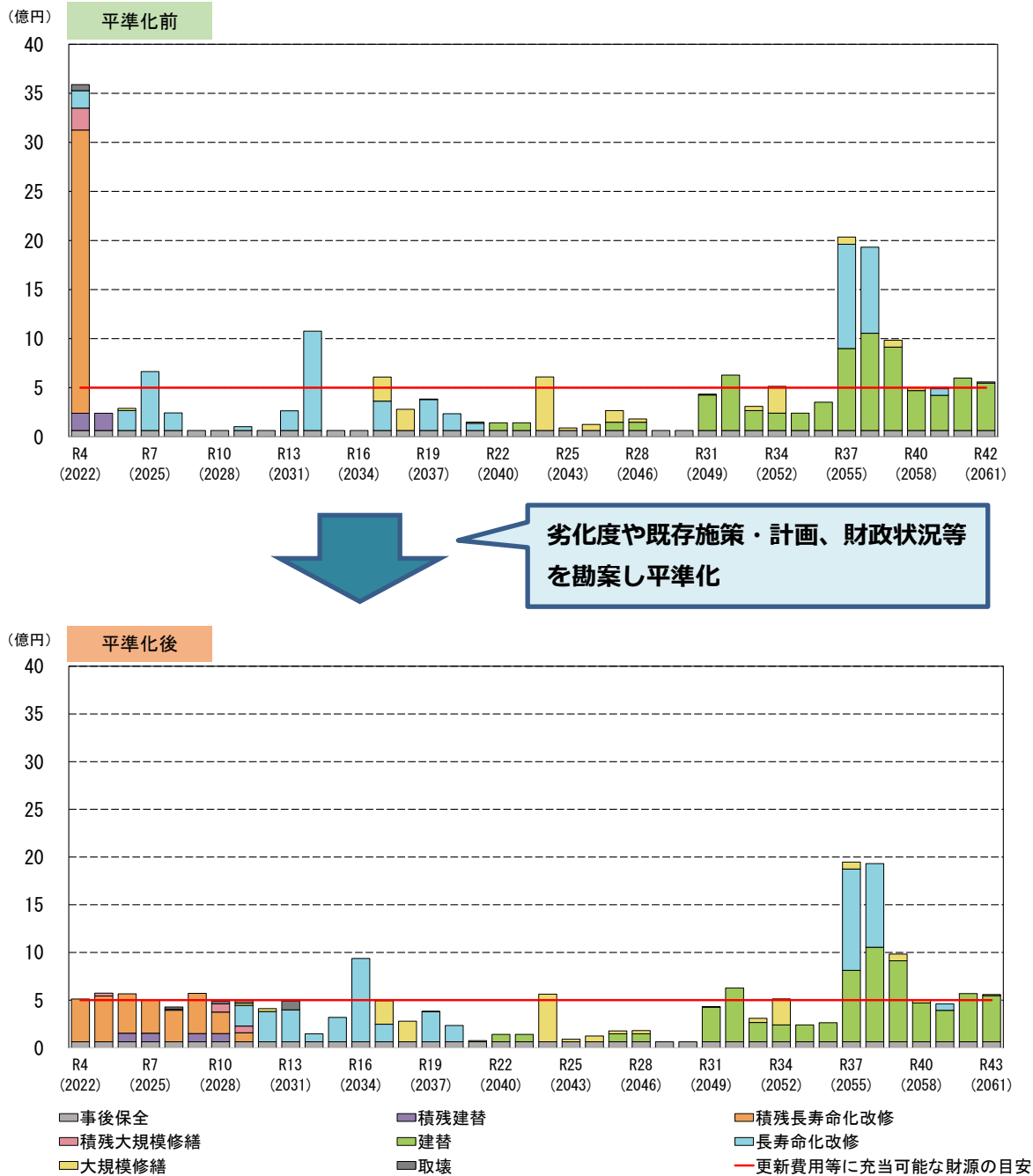
第5章

第6章

3 実施計画におけるコストの見通し

スケジュールをもとに改修を実施すると、直近10年間は緊急修繕や耐震補強の実施により年あたり約5.0億円が必要となりますが、その後の30年間は約4.5億円となります。

図5-1 公共施設の更新費用試算比較(平準化前⇔平準化後)



※石川町老人福祉センターはR3年度に解体予定の為除外しています。

※あくまで推計値であり、実際にかかる経費とは異なります。

4 今後の対策

令和 17 年度まで毎年 5 億円前後の整備費用が見込まれますが、その後は一旦落ち着くことが予想されます。令和 31 年度以降多くの建物が更新時期を迎えることから、令和 18 年度～令和 30 年度までの期間で地方債の償還と定期的な基金の積み立てにより財源確保を行います。

また、各施設において利用率の向上や施設使用料の見直しによる収入改善を図るとともに、人口減少の状況を見据えた施設規模の検討、統廃合を通じ、効率的な行政サービスの提供を目指します。

第6章 個別施設計画の継続的運用

1 維持管理の項目・手法等

長寿命化を図るため、修繕等の工事だけでなく、日常的・定期的な点検を実施し、建物を維持管理していきます。劣化状況等を把握し、効率的な修繕・更新を検討、計画に反映してきます。

点検種類		点検内容	頻度	担当者
日常的な点検		建物や設備の状況把握、 清掃等	常時	施設管理者
定期点検	劣化調査	建物や設備の劣化・破損 状況の把握	1年に1回	施設管理者
	法定点検	各種法定点検	各種周期に準ずる	専門業者



劣化状況調査票(建築)

劣化調査の調査票例

点検番号		調査日		所属	施設情報		記入者		
調査日		年	月	日	施設名称	電話番号	所在地	所管部署	
調査項目		チェックポイント		不具合の有無	状況等		詳細評価	部位別評価	写真番号
調査項目		チェックポイント		適用	状況等		有	無	
外壁	外装仕上げ材等	剥落箇所または浮き等、剥落のおそれはないか(特に人が常時いると推定される道路に面している場所、または庭に面した場所などに注意)		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				
		ひび割れ、欠損、腐食等の劣化はないか		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				
	カーテンウォール	カーテンウォール		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				
	外部天井	軒裏のコンクリートや仕上げ材に脱落や剥れはないか		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				
		手すり、タラップ(点検用はしご)にさび、腐食はないか		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				
	外部開口部	閉閉不良、ガタつき等はないか		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				
		腐食等(腐食、さび等)がないか ガラス、ひび割れ、破損等がないか		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				
	内部床	床仕上げ材		床の仕上げ材について、ひび割れ、破損等がないか		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
		内装仕上げ材		内装の仕上げ材について、ひび割れ、破損等がないか		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
	内部天井	天井仕上げ材		天井の仕上げ材について、ひび割れ、破損等がないか		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
内部天井		内部天井について、ひび割れ、破損等がないか		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				
内部開口部	内部開口部	閉閉不良、ガタつき等はないか		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				
		腐食等(腐食、さび等)がないか ガラス、ひび割れ、破損等がないか		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				
	建具に歪みがないか、取り付け金物の緩みや戸のズレがないか		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>					
	防火扉等		センサ、ドアクローザー、ノブ等の異常・損傷はないか		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
	防火シャッター		適切に作動するか		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
	防火シャッター		適切に作動するか		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
内部天井	トリアックス	内装の仕上げ材について、ひび割れ、破損等はないか		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				
		ブラインド、カーテン		ブラインド、カーテンレールの破損、さび、腐食等がないか		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
	書架、造付け家具		破損、腐食等がないか		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
	流し台		さび、亀裂その他の損傷はないか		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
内部/外部建築	階段	手すり		破損、腐食等がないか		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
		階段		階段の状況(屋内・屋外)		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		

劣化調査においては「劣化調査マニュアル」を作成し、劣化状況調査票の項目について評価を行います。

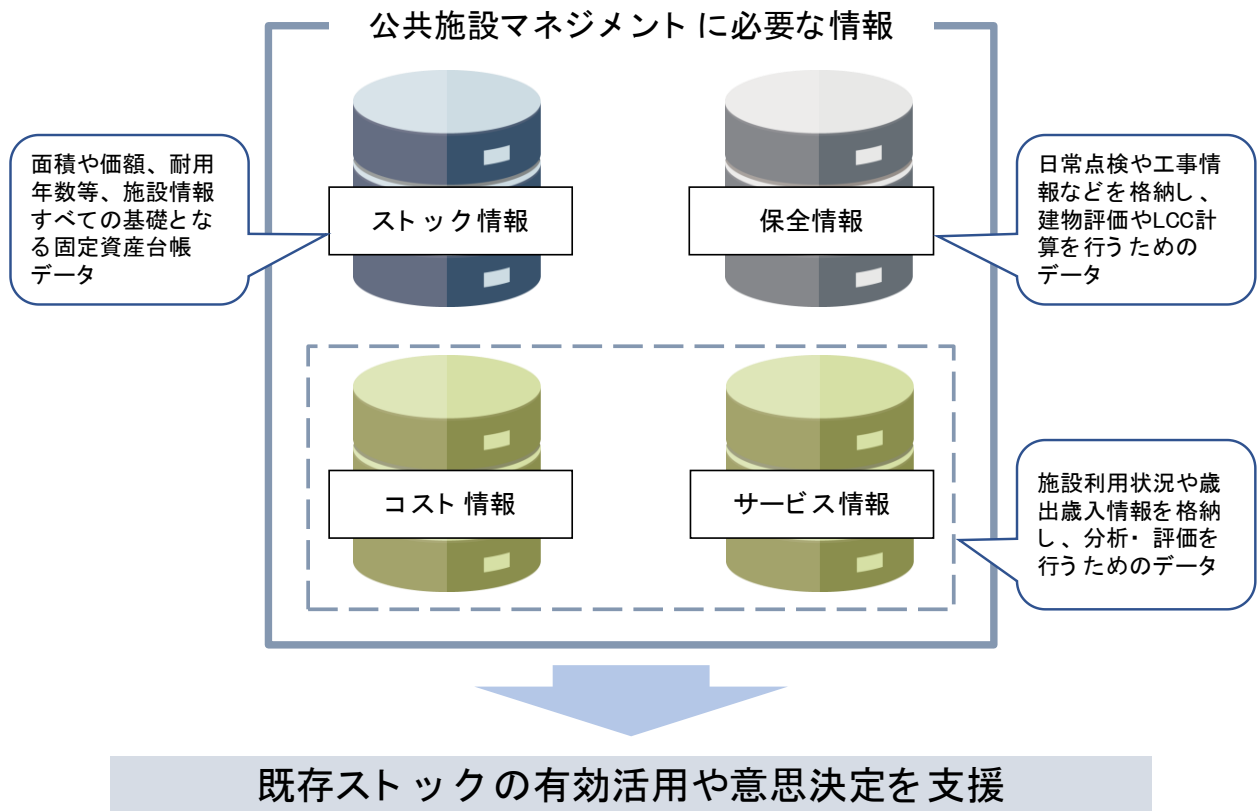
劣化調査マニュアル例

チェックポイント	評価ルール	評価基準
(2) 笠木		
<p>陸屋根（平らな屋根）の立ち上がりの笠木（天端）部分にひび割れ、浮き、腐食がある。</p>  <div data-bbox="427 909 692 1028" style="border: 1px solid orange; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>笠木部分のひび割れ、はがれが見られた事例</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 原則は年数で評価 ■ 全面的に緊急対応が必要な場合 D 評価とする 	<ul style="list-style-type: none"> ○経過年数 20 年未満 <ul style="list-style-type: none"> - A 評価 ○経過年数 20～40 年 <ul style="list-style-type: none"> - B 評価 ○経過年数 40 年以上 <ul style="list-style-type: none"> - C 評価 ○経過年数に関わらず著しい劣化事象がある場合 <ul style="list-style-type: none"> - D 評価
(1) 床仕上げ材		
<p>床の仕上げ材について、ひび割れ、破損等がないか</p>  <div data-bbox="427 1599 667 1718" style="border: 1px solid orange; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>床材の劣化、割れがある事例</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 写真事例と照らして判断を行う ■ あわせて年数の状況も加味して評価 ■ 全面的に緊急対応が必要な場合 D 評価とする 	<ul style="list-style-type: none"> ○経過年数 20 年未満 <ul style="list-style-type: none"> - A 評価 ○経過年数 20～40 年 <ul style="list-style-type: none"> - B 評価 ○経過年数 40 年以上 <ul style="list-style-type: none"> - C 評価 ○経過年数に関わらず著しい劣化事象がある場合 <ul style="list-style-type: none"> - D 評価 <p>※建物の概ね半分以上の床面積にわたって行った改修工事の実施年度を基準とする</p> <p>※天井の張替え、壁の塗り替え、照明器具の交換など、部分的な改修は対象外</p> <p>※広範囲の劣化がみられる場合は、評価を1段階下げる</p>

2 情報基盤の整備と活用

施設の老朽化、厳しい財源状況、人口減少による需要の変化に対応するため、公共施設におけるPDCAサイクルを回すことを目的としたシステムを構築します。施設の利用者やコスト・点検状況など、日々積み重なる情報の蓄積と表やグラフという形で「見える化」することにより、各担当者が施設に対する分析や課題認識を通じた対策を検討・行動できるようにします。また固定資産台帳と連携することにより、資産とマネジメントの一体的な管理を行うよう留意します。

【情報基盤整備イメージ】



序章

第1章

第2章

第3章

第4章

第5章

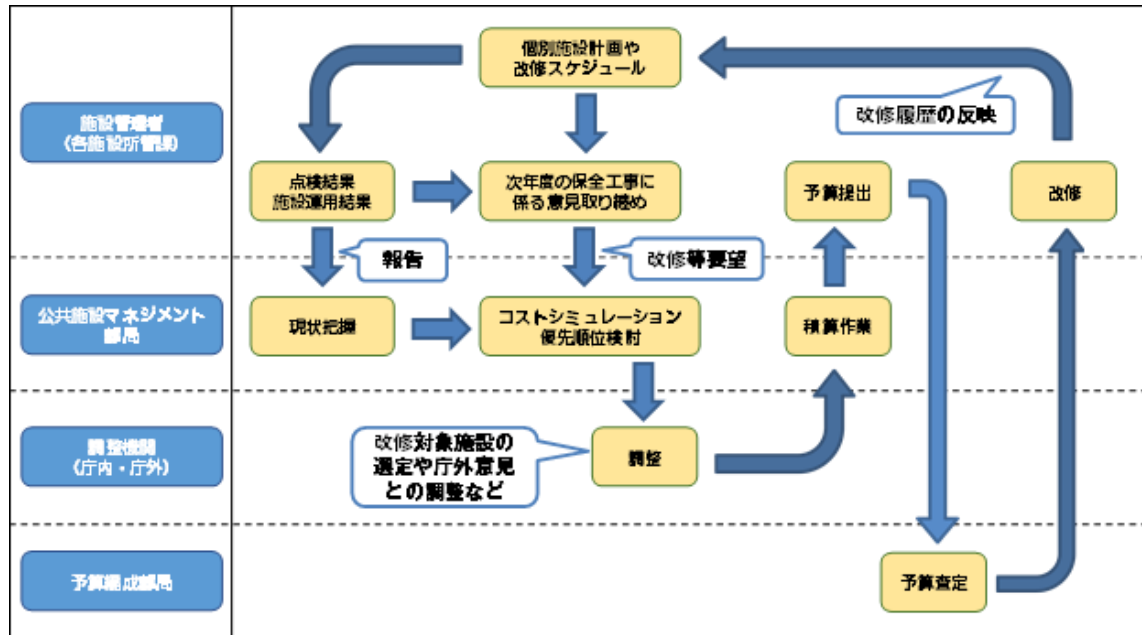
第6章

3 推進体制等の整備

計画策定から改修まで一連で管理する体制を作るため、各部署横断的に管理できる体制を構築します。

定期的に進捗状況を確認し、遅れているところがあれば軌道修正を実施します。

推進体制イメージ



4 フォローアップ

施設の劣化状況や厳しい財源状況、人口減少による需要の変化に対応するため、進捗を確認しながら必要に応じて適宜計画の見直しを行います。


また、本計画で示した実施見通しを目安として、具体的には実施年度や個別の事業費などを精査しつつ、財源とのバランスを見ながら施設の改修等工事を実施していきます。



石川町

●お問い合わせ先

企画商工課 管理情報係

 0247-26-9115

町のホームページでは公共施設マネジメントに関する上位計画である「石川町公共施設等総合管理計画」を公表しています。

石川町 公共施設

検索

